



ブラザー編機 **パリエ**^{スリー}3 正しい使い方

KH-831型

★お買い上げ誠にありがとうございました。

ブラザー編機バリエの素晴らしい機能とその正しい使い方をご理解いただくために、まずこの説明書をよくご覧下さいますようお願い申し上げます。

❀ 編機講習整理券の使い方 ❀

この説明書には講習整理券が8枚（うち2枚は教室専用講習整理券）ついています。次の基準により、販売した店が責任をもって講習を行いますのでご利用下さい。

- ① 受講された場合の整理に使用しますので、ご署名のうえ、1枚づつ切取って教室へお渡し下さい。
- ② 教室で講習を受けられる場合は8回の講習が受けられます。
- ③ 出張講習を受けられる場合は、1回につき講習整理券を3枚お渡し下さい。出張講習は2回で終了しますが、あとの2枚（教室専用講習整理券）は教室でお使い下さい。
- ④ 教室専用講習整理券は、都合のよい日に最寄りの教室で自由にご利用下さい。

編機講習整理券による講習基準

この講習基準は、教室、出張講習とも、講習時間は1回2～3時間を基準としています。

出張講習による2回講習の場合は、時間に制約がありますので、この説明書をよくご理解いただき、講師の説明に従って事前準備と、予習、復習をお願いいたします。また、出張講習が終了いたしましたら、最寄りの教室をご利用いただき、編機をご使用下さいますようお願い申し上げます。

〔教室講習の場合〕

1	1. 編機の取扱い方 2. 編機の組立て方と各装置、ニットリーダーの取扱い方 3. 基本操作の練習 4. 編機のしまい方
2	5. 編ゲージの取り方 6. 各種模様の編み方 7. 製図の決定 (パターンを選択と写し方)
3 } 7	8. 作品を編む準備と作製手順 9. 製図に従っての作品の編み方 (増し目・減し目の説明)
8	10. とじ・はぎ・まとめと仕上げ手順

〔出張講習の場合〕

1	1. 編機の取扱い方 編機の組立て方と各装置・ニットリーダーの取扱い方 基本操作の練習 編機のしまい方
2	2. 各種模様編の編み方 3. 編ゲージの取り方 4. 独習要領 5. 総まとめ

※出張講習の場合は、編機の使い方説明のみで終了致しますので、講習後、独習で解らない所がありましたら7・8の講習整理券を持って最寄りの教室へお出かけ下さい。

※教室で講習を受けられる場合は、ブラザーニットリングパターンをご利用いただきますとシンプルなブルオーバーまたはスカートを一着編みあげることができます。

各部のなまえとはたらき	1
キャリジ	1
本 体	1
付属品	2
ニットリーダー	2
本機の組み立て方	3
本機のしまい方	5
編み始め方	7
編む前の知識（編針の位置）	7
ニットリーダーの使い方	9
ニットリーダーの取り付け方	9
ニットリーダーの取り外し方	10
作品を作るために	11
編ゲージとは	11
編ゲージの作り方	11
編ゲージの計り方	12
編ゲージのセット方法	13
製図の写し方	13
編目スケール目盛の読み方	14
模様編の編み方	15
パンチカードと編針の関係	15
パンチカードのセット方法	16
模様編の準備	16
タック編	17
配色タック編	18
糸口糸の切り替え方	18
すべり目編	19
配色すべり目編	20
同時編込模様	21
ワンポイント模様	22
スレッド編	23
糸調子の取り方	23
スレッド糸の切り替え方	23
間欠送り模様	25

編み始め方	25
Lキャリジの使い方	26
レース編・タックレース編の準備	27
レース模様	28
タックレース模様	28
知っておきたいことから	29
編んでいる途中でキャリジが動かなくなったとき	29
編地のほどこき方	29
Kキャリジを空送りしたいとき	29
編み間違えたときの直し方	29
編んでいる途中でLキャリジが動かなくなったとき	31
編出シを使わないで編始める方法	32
間違って選針されたとき	32
編針が曲ったとき	32
編目の移し方、減らし目、増し目	33
1. ウツシの使い方	33
2. 減らし目	33
3. 増し目	33
4. 1目ゴム編	34
5. ガーター編	34
6. なわ編	35
7. ひも編	35
各種模様の引返し編	36
1. 平編の引返し編	36
2. 総タック編の引返し編	37
3. 同時編込模様・すべり目編・スレッド編の引返し編	37
4. レース編・タックレース編の引返し編	38
編みはじめ方	39
手入力	39
保 存	39
編目スケールを段方向(段数)に使うときの早見表	40

各部のなまえとはたらき

罫目ダイヤル

使う毛糸の太きに応じて罫目の大きさを調節する役目します。数字が大きいほど編まれる罫目はあらかになります。尚、糸が太くなるほどキヤリジの操作は重くなりますので、極太糸などを編む場合は、罫針を1本おきか2本おきで編みます。

標準目盛

使用毛糸	目盛
細糸	0-3
合細	3-4
中細	4-6
並太	6-9
極太	9-10

数字または点を▼印に合わせます。

カムボタン

模様編のときに使うボタンです。ボタンは押された位置に止まります。2つのボタンを押すときは2つ同時に押して下さい。

選針切替ツマミ

「レース・ひらあみ」、「もようあみ」「キヤリジはずし」の位置があります。

編地押エツツマミ

編地押エを締めつける役目します。

糸口

地糸口……編糸を入れて編みます。色糸口……同時編の時、配色糸を入れて編みます。

糸口レバー

編地押エ

編地浮き上り防止の役目します。

スレッドハケ車

スレッド編に使うハケ車です。

スレッドレバー

スレッド位置とひらあみ位置があり、スレッド位置にしてスレッド編をします。

糸案内

スレッド編のときにスレッド糸を入れて編む糸口です。

引返シレバー

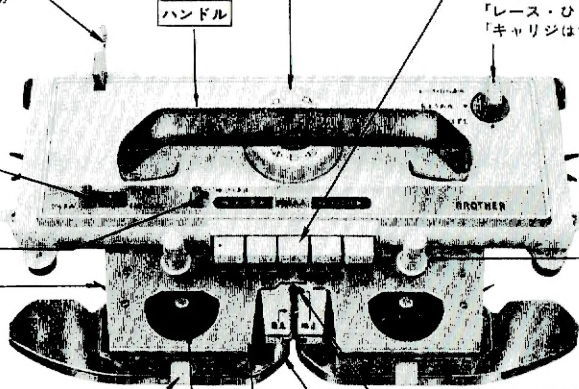
編針の通路を変える役目します。

ヒラアミレバー

カムボタンを戻す役目します。

作動レバー

ニットリーダーの送りレバーを動かす役目します。



ターンマーク

別売りのカラーチェンジャーを使用したときのキヤリジのターン位置を示します。

ミゾ板

200本の編針を支えています。

部品箱

付属品を格納します。

糸取棒穴

部品立て

ウツシ、タッピなどを立てておくときに使います。

ストップレバー

とまる位置とまわる位置、のびる位置がありカードの動きを変えるときに使います。

送りツマミ

カードを送るときに使います。

指示マーク

キヤリジの進行方向を示します。

補助レール受板

キヤリジを使用するときの補助レールを取付ける金具です。

編針

ニードルループを作る役目します。

カード差し込み口

カード送りボタン

カードを巻くときに使います。

クシバ

シンカーループを支える役目します。

選針装置

糸取装置

編糸の供給を自動的に調節します。

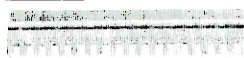


補助レール

レース編・タックレース編を編むときに使い、キャリア落下防止の役目をします。



模様板刃



カラーウエイト

模様編を編むときに使うオモリです。



タッピ

ゴム編、ガーター編に使います。



ウツシ 1 × 2
ウツシ 2 × 3
ウツシ 1 × 3
減らし目・増し目などを行なうときに使います。

編出し

編出しを行なうときに使います。

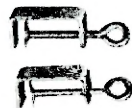
抜き糸

編出し、捨て編の区切に使います。



編針(予備)

手バケ



カギ針



手入れ油

トジ針

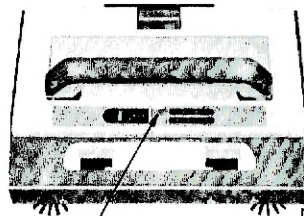


スナップ



Lキャリア

自動目移し装置です。



取付金具

編機を机に固定するときに使います。

キャリア止メ金

キャリアをミソ板に固定するときに使います。

パラフィン

パンチカードNo.1c~No.20c



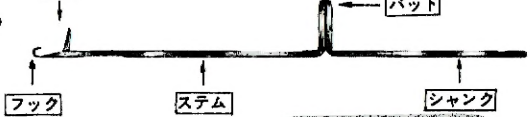
名札



L切替ツマミ

レース編・タックレース編の位置があります。

ペラ



カード支エ

パラフィンケース

トジワイヤー

ミシン縫製するとき、編地の端をかがるのに使います。

クラッチ

ゲージツマミA

ゲージツマミB

60段の編ゲージの長さをセットします。Aはセンチ・Bはミリメートルを記述します。

送りダイヤル

シートをセットしたり段数を合わせる役目をします。

シートボタン

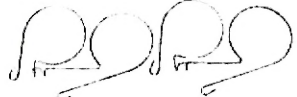
シートを正しく入れる役目をします。

送りレバー

キャリアの作動をニットリーダーにつたえる役目をします。(右側の穴はデリカKH-110と組合わせたときに使います。)

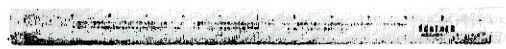


リーダーケース



シートガイド

シートを支える役目をします。



シート 製図を書く用紙です。



編目スケール

シートの製図から目数を読むのに使います。



取付金

ニットリーダーを編機に取り付けるときに使います。

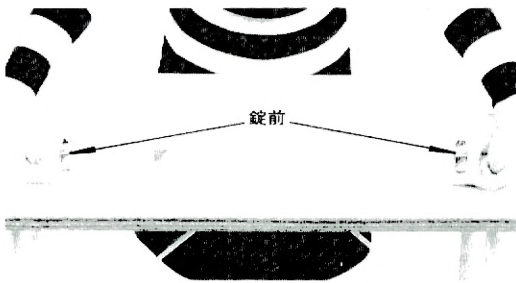


シートケース

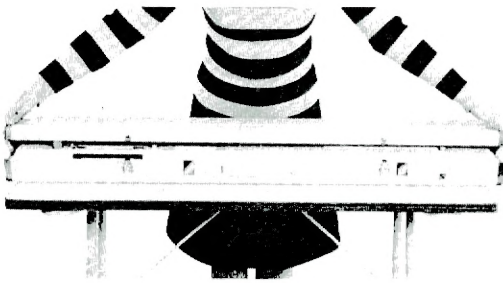
編目スケール、シートを入れるケースです。

ブラザーペン

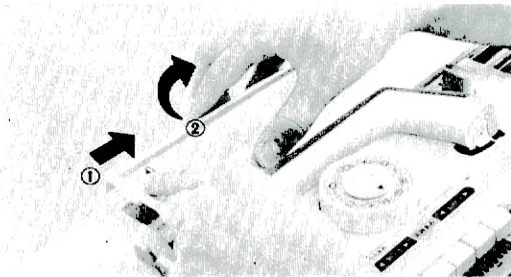
本機の組み立て方



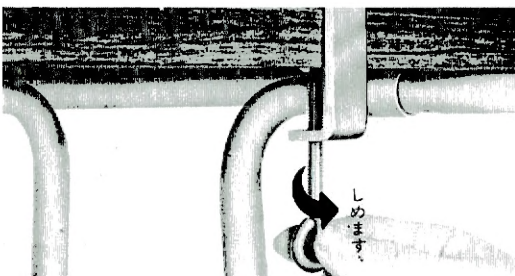
(1) 取手が向こう側になるように置き、錠前を2個共はずします。



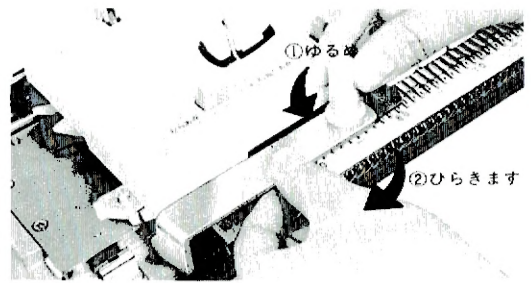
(2) ケースの取手側を持ち上げ、手前に引いてはずします。



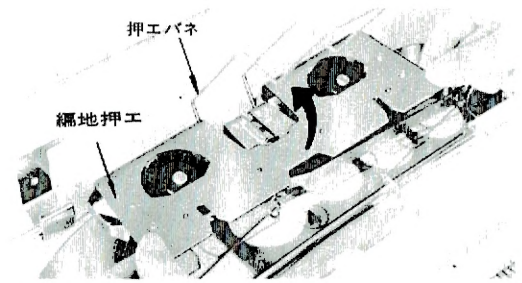
(3) ツマミを矢印方向へ押し、フタを開きます。



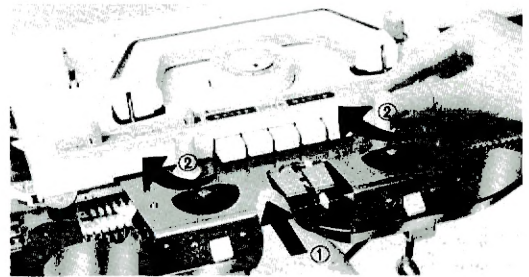
(4) 部品箱から取付金具2個を取り出し、テーブルに固定します。



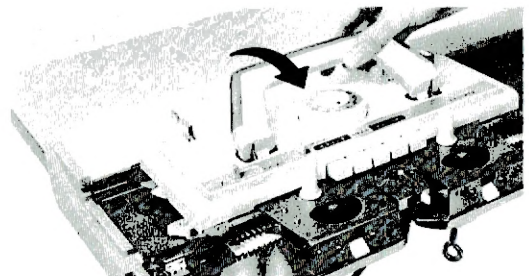
(5) キャリジ止め金を外します。



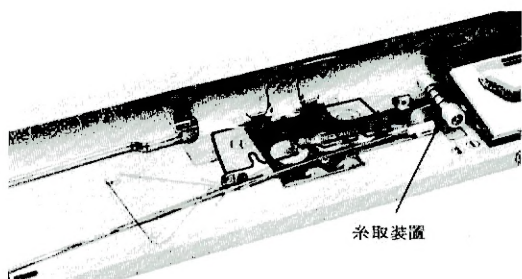
(6) 押エバネをはずして編地押エを取出します。



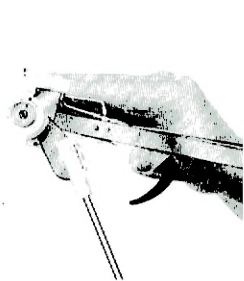
(7) キャリジの編地押エツマミをゆるめてから、編地押エツマミの下にしっかりと差し込み、ガタなく入のを確かめて締め付けます。



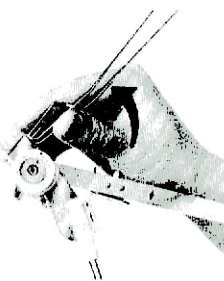
(8) ハンドルを手前に起こします。



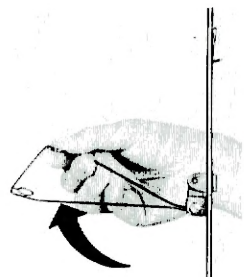
(9) ケースフタから糸取装置を取り出します。



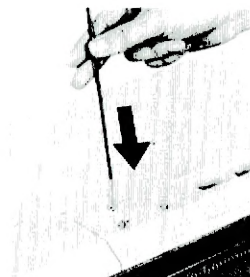
(10) 前糸案内を矢印方向に開きます。



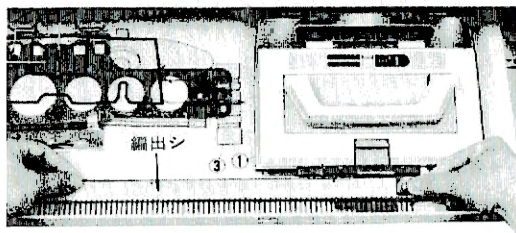
(11) 糸取バネを“カチッ”と音のするまで回します。



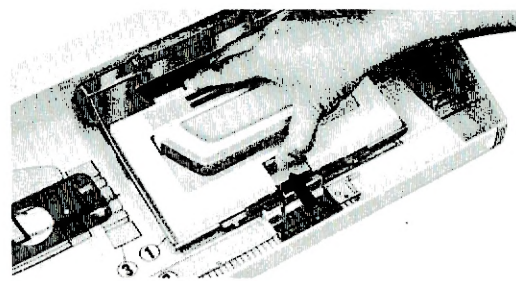
(12) 後糸案内をとるまで開きます。



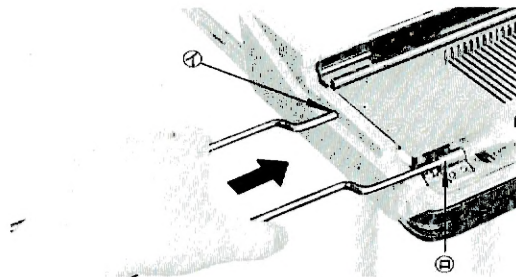
(13) 糸取棒を糸取棒穴に差し込みます。



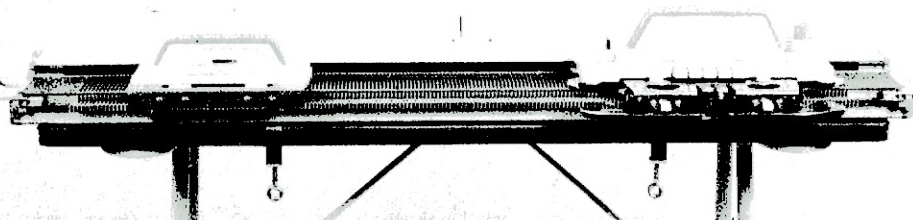
(14) 糸出しを取り出します。



(15) 外シボタンを押しながらLキャリジを取り出し、ハンドルを手前に起こします。

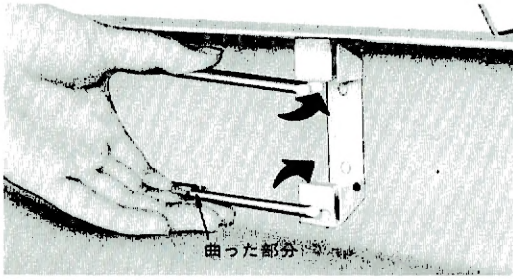


(16) 補助レールをケースフタから取り出し、写真①と②の部分に差し込みます。

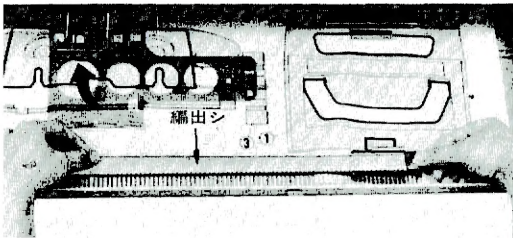


(17) 本機を組み立てた状態を示します。

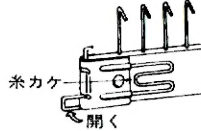
本機のしまい方



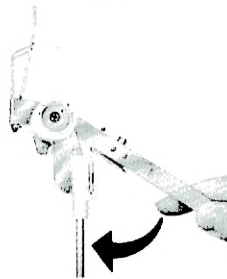
(1) 補助レールを2本揃え、両端の曲った部分を手前にして納めます。



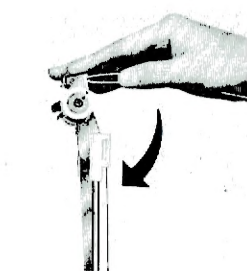
(2) ケースの押エバネを開き、編出しを糸カケが下向きになるようにして、ケースに納めます。



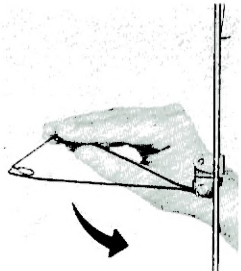
(3) 糸取棒を取り外します。



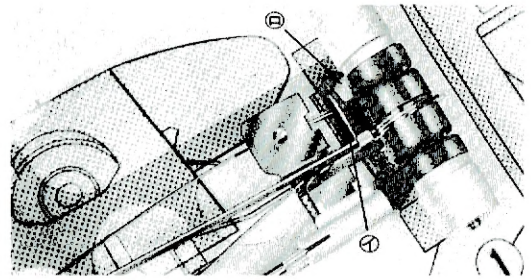
(4) 前糸案内を閉じます。



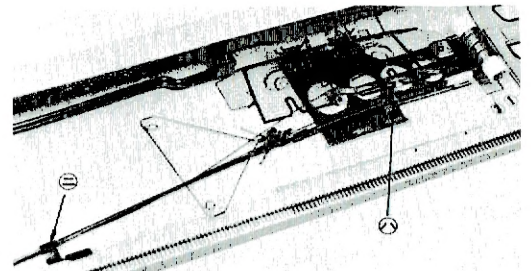
(5) 糸取バネを閉じます。



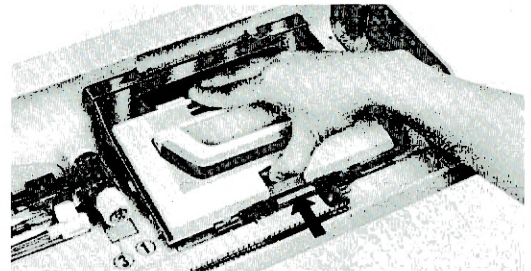
(6) 後糸案内を閉じます。



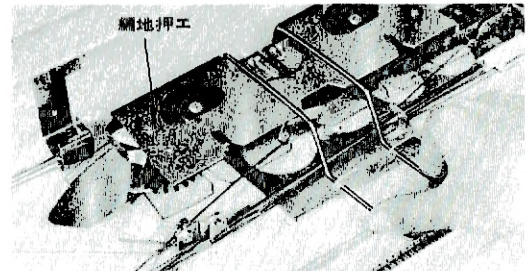
(7) 糸取装置頭部の①部を、ケースの金具②の下にはめ込みます。



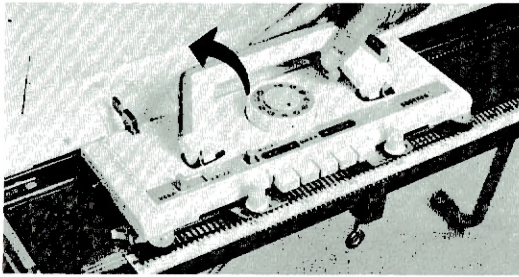
(8) 糸取棒と糸取バネを、ケースの金具④の下にはめ込み、金具③の手前側を通します。



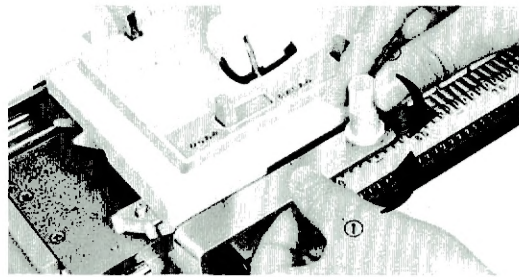
(9) Lキャリジのハンドルを倒し、Lキャリジを外シボタンを押しながらケースに納め、外シボタンがケースの金具にかかっていることを確かめて下さい。



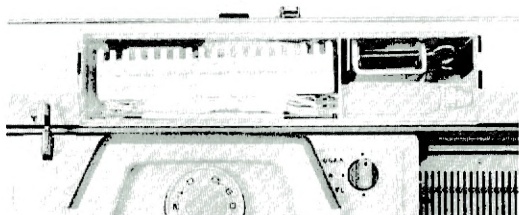
(10) 編地押エを、ケースの絵の上に正しくのせ押エバネをかけます。



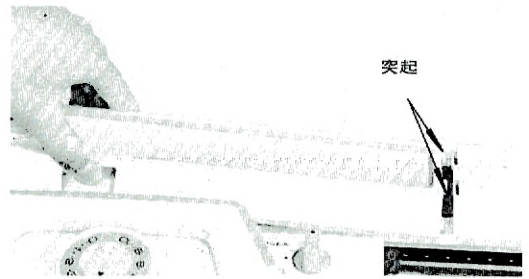
(11) キャリジのハンドルを倒します。



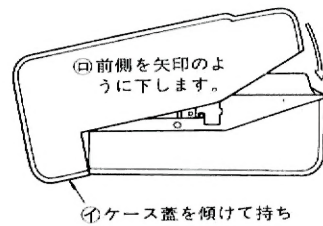
(12) キャリジ止め金をミゾ板左端の穴に入れ、ツマミを締めてキャリジを固定します。



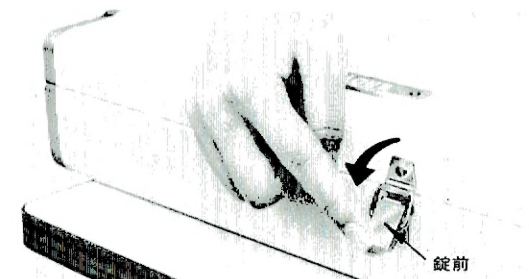
(13) 取付金具をはずし、カラーウェイト、手入れ油などの付属品を部品箱に納めます。



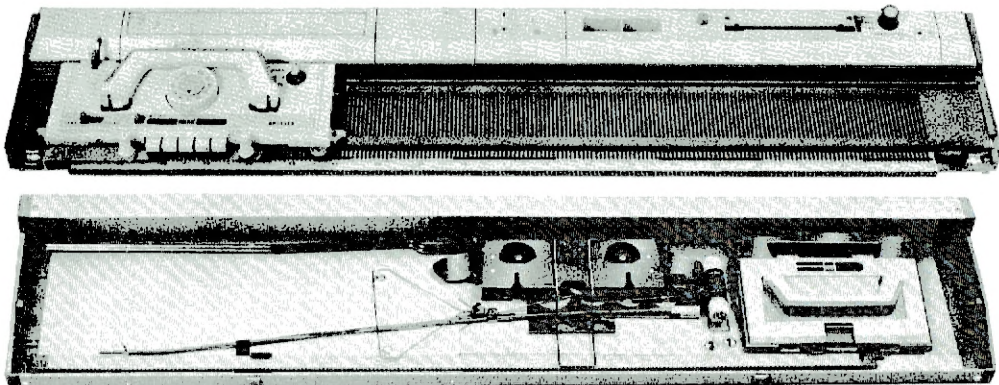
(14) フタの2個の突起を部品箱の右側の穴に差し込み、フタを閉じます。



(15) ケースフタの両端を手で持ってフタをします。



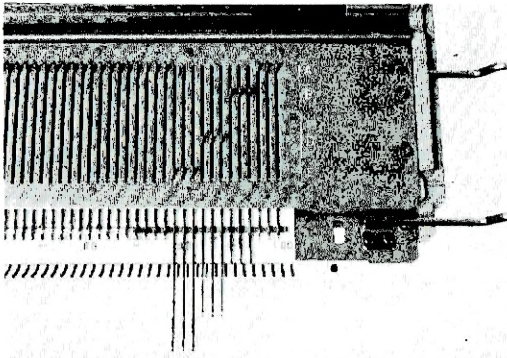
(16) ケース錠前をかけます。



※ ケースと本体の格納状態を示します。

編み始め方

◆編む前の知識……(編針の位置)



●ミゾ板には、A、B、D、Eの各位置の刻印があります。

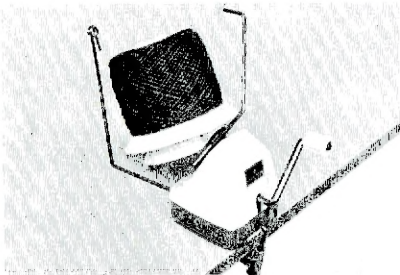
各位置は編針の状態を表わしています。

A位置…キャリジを操作しても編めません。

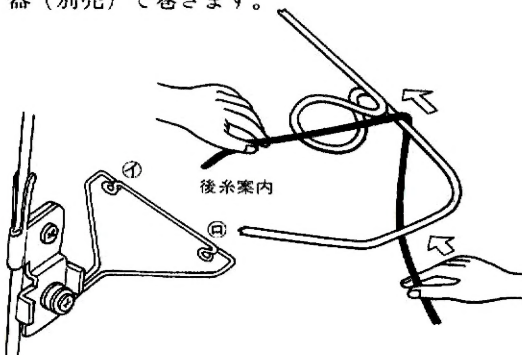
B位置…普通この位置で使用します。

D位置…模様編の場合の選針位置です。

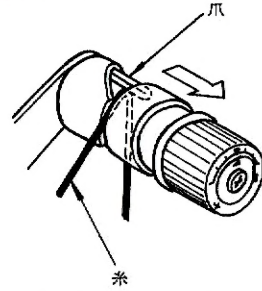
E位置…引返し編に使う位置です。



(1) 中細毛糸を用意します。写真のように糸巻器(別売)で巻きます。

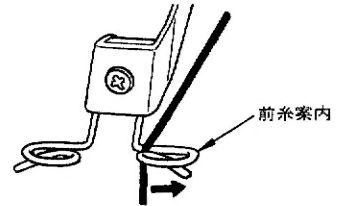


① 後糸案内の①、②部分に外側から図のように通します。

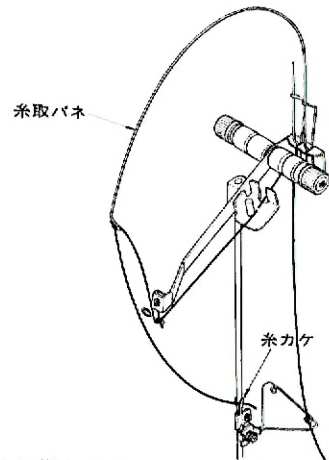


② 爪の内側に糸を通し、糸取調子皿にはさみます。

ダイヤルを▲に合わせておきます。

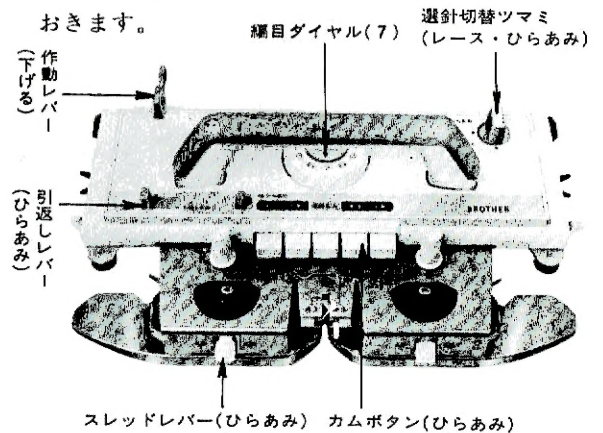


③ 前糸案内に糸を通します。



④ 糸取バネに通します。

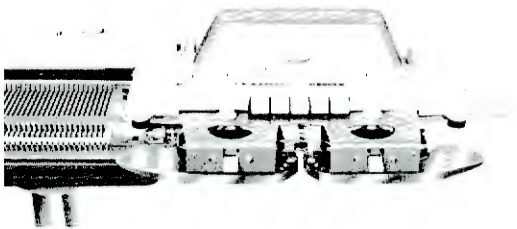
(2) 糸取装置に編糸を通して、糸カケに休めておきます。



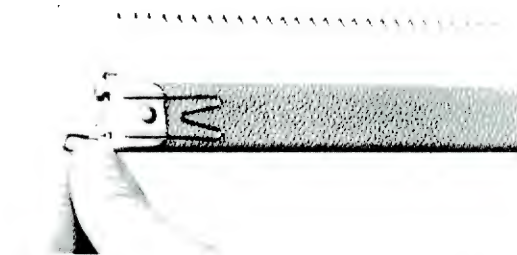
(3) キャリジを写真のようにセットします。



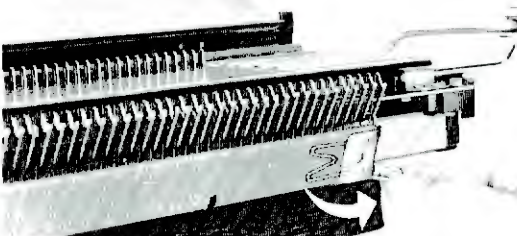
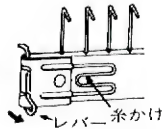
(4) 左30～右30の間の編針60目をB位置に出します。残りの編針はA位置に戻しておきます。



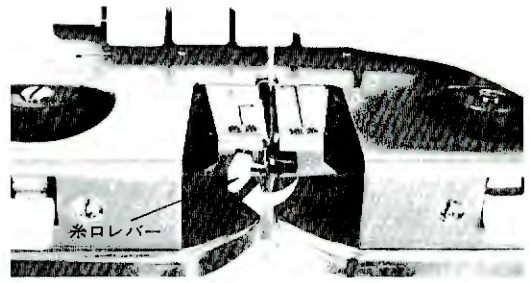
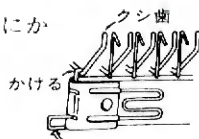
(5) キャリジを1～2回左右に動かし、ミゾ板の右端に置きます。



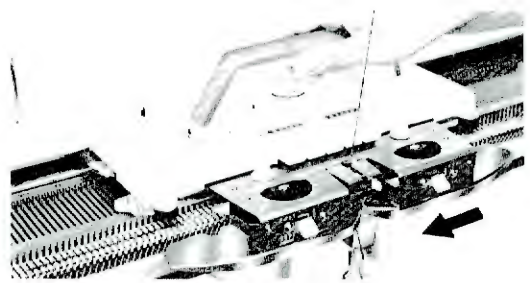
(6) 編出しを糸かけが手前になるように持ち、両端のレバーを手前に回します。



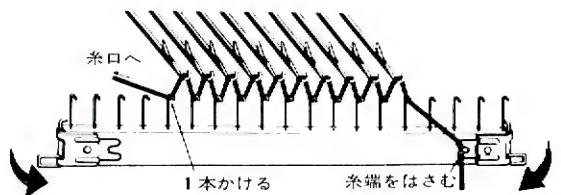
(7) 左右共一番端のクシバにかかります。



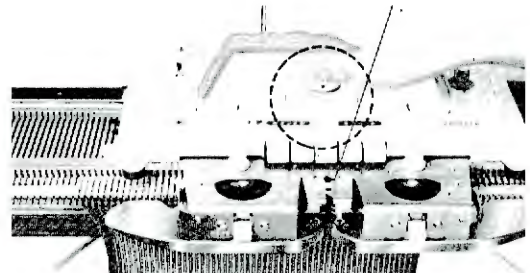
(8) 糸口レバーを矢印方向に押して、地糸側の糸口に編糸を通します。糸口レバーを戻します。



(9) 糸端を指でつまみながら、キャリジをゆっくり右から左端まで動かします。編糸が編針にかかります。



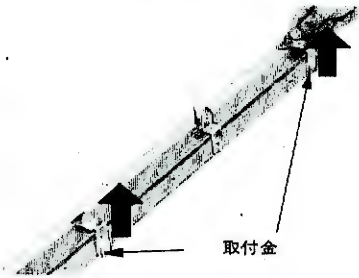
(10) 編出し両端のレバーを手前(矢印)にまわし、編出しを静かに引き下げ、端糸を編出しのカギに1本だけかけます。



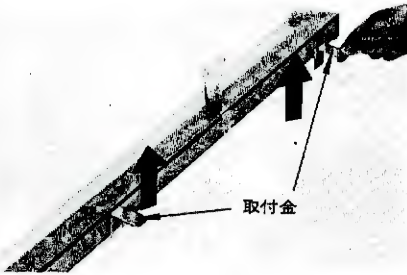
(11) 編目ダイヤルを5に合わせます。キャリジを左右に動かしますと平編が編めます。

※ニットリーダーの使い方※

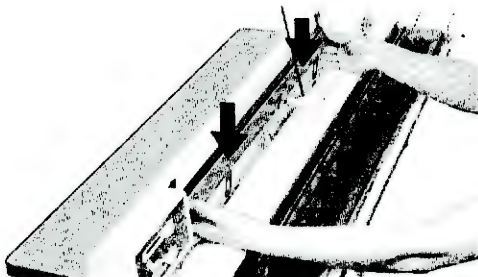
◆ニットリーダーの取り付け方



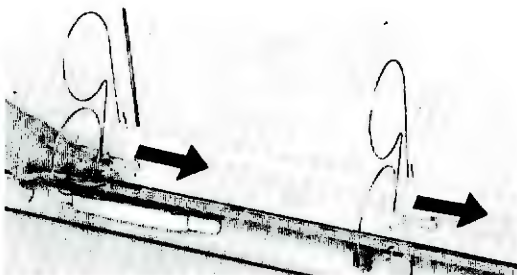
(1) 2つの取付金を矢印の方向に引っ張り、ニットリーダーからはずします。



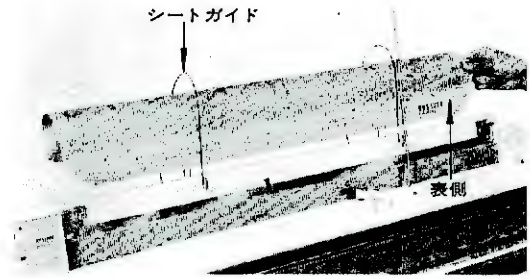
(2) 取付金をニットリーダーの取付部に差し込みます。



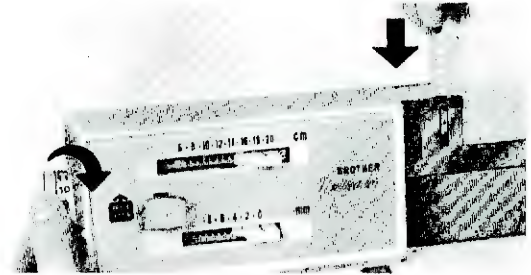
(3) ニットリーダーを本機の後側のリーダー取付金に差し込みます。



(4) シートガイドを矢印方向へ押してニットリーダーに取り付けます。



(5) シートの表が外側になるようにシートの上(文字が書いてない方)から巻き、シートガイドに入れます。

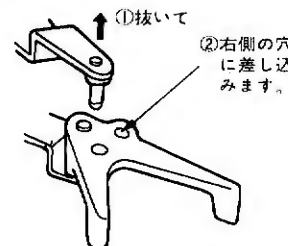


(6) シートの左下端を左側のシート差し込み口に入れ、シートの左側の穴を送り歯に合わせ、送りダイヤルを2〜3段回します。



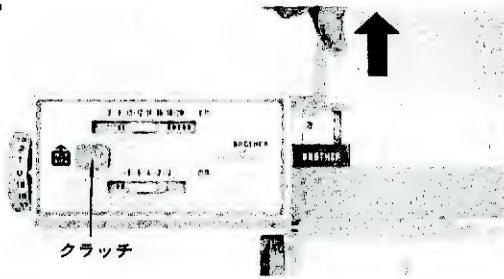
(7) 右端にあるシートボタンを押したまま、シートを上下に動かして傾きを直します。

デリカ(KH-110)にこのニットリーダーを使う場合……

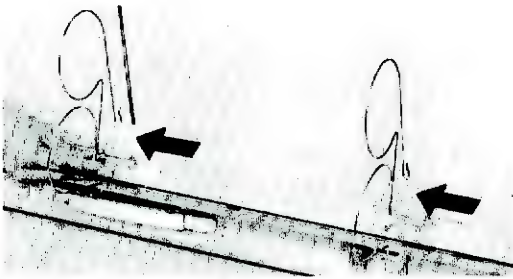


※別売のKH-110用取付台と取付金をご使用下さい。

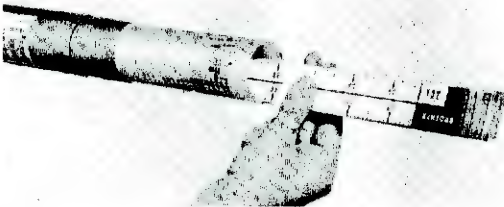
◆ニットリーダーの取り外し方



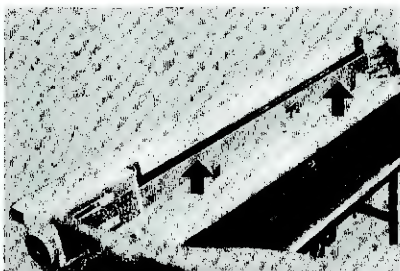
- (1) クラッチをいっぱいを押して上げてから、シートを手で引き上げてはずします。



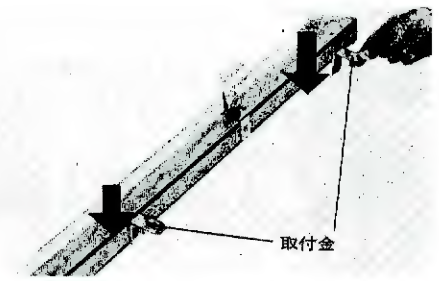
- (2) シートガイドをはずします。



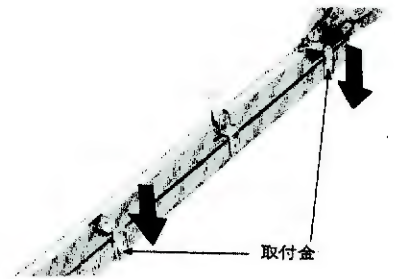
- (3) シートと編目スケールをシートケースにしまえます。



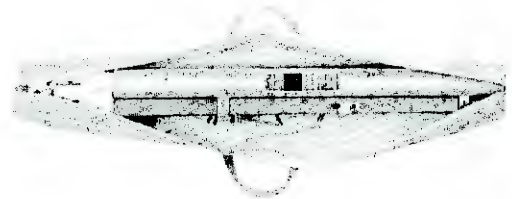
- (4) ニットリーダーを本体からはずします。



- (5) 取付金 2 個を矢印の方向に押し込み、はずします。



- (6) 取付金を逆向きにして差し込みます。



- (7) シートガイドを取付部を上にしてリーダーケースの中央に置き、その上にニットリーダーを上向きに置き、さらにその上にシートケースをのせてファスナーをとじます。

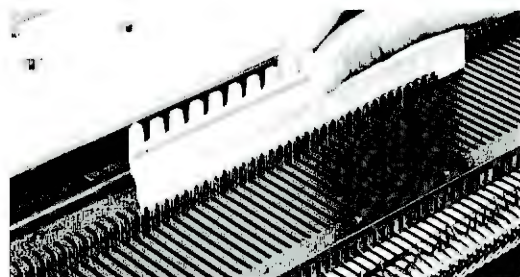
作品を作るために

◆編ゲージとは……



●作品を希望の大きさに編み上げるためには、作品を編む糸で試し編地を編んで、編目の大きさを知る必要があります。ニットリーダーでは目数40目、段数60段の長さを計り、その長さを編ゲージとします。

◆編ゲージの作り方



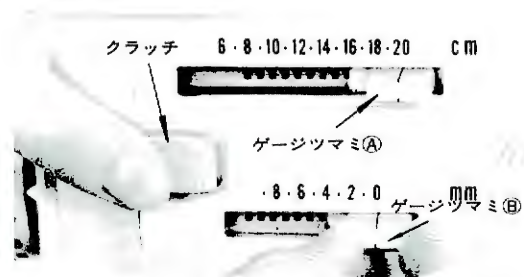
(1) ミゾ板の真中(0)を中心にして、左右30本の編針を出します。



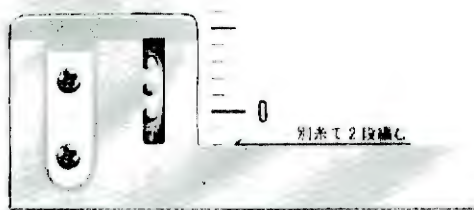
(2) 7～8ページに従って編み出し、4～6段編んでキャリジの作動レバーを下げます。



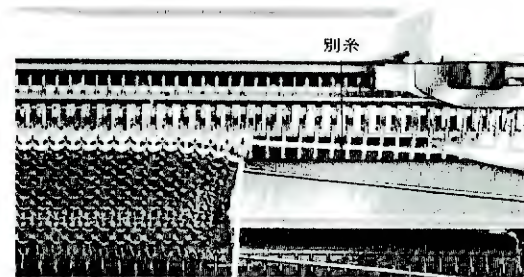
(3) シートをニットリーダーに差し込み、(9ページ参照)送りダイヤルを回してシート左端の〔編始め〕線をフレーム線に合わせます。



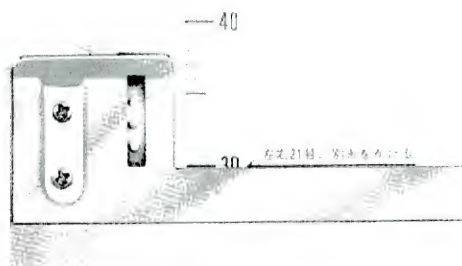
(4) クラッチをいっぱい押し、ゲージつまみAを20、Bを0に合わせます。



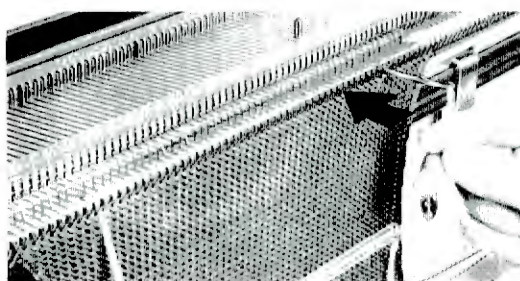
(5) シート左端の〔別糸で2段編む〕線とフレーム線が合う所まで編みます。



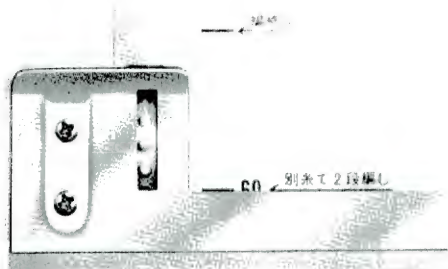
(6) 地糸口の編糸をはずし、ミゾ板の端にかけて休め、別糸(区別をつけるため色の違った糸)を地糸口に通して2段編みます。



- (7) 地糸口の別糸を編糸にかえ、シート左端の〔左右21目に別糸をかける〕まで編みます。



- (8) 左右21本目の編針を各1本ずつE位置に出し、短かく切った別糸を編針のフックにかけてB位置にもどします。



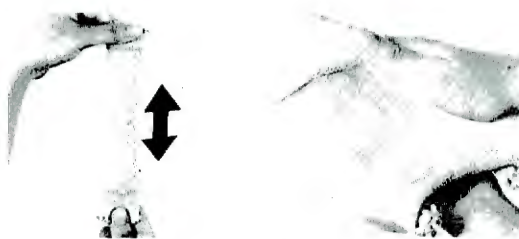
- (9) シート左端の〔別糸で2段編む〕まで編み、地糸口から編糸をはずしてミゾ板の端に休め、別糸で2段編みます。



- (10) 地糸口の別糸を編糸にかえて、シート左端の〔編終り〕線まで編みます。
 ◎編糸を糸口からはずしてキャリジを動かしますと、編地がはずれます。

◆編ゲージの計り方

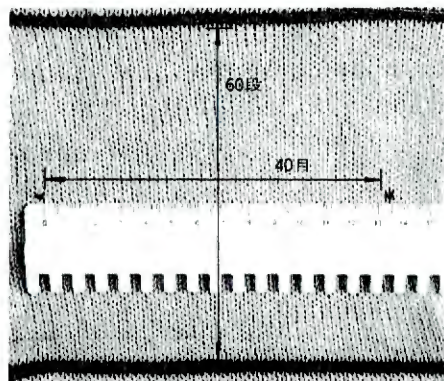
◎編まれた編地は、横に伸びていますので次のようにします。



- (1) 編地をタテに2
～3回軽く引張り
ます。
- (2) 軽く手でたたくよ
うにして編目をもど
します。



- (3) スチームアイロンで蒸気を2～3分当てます。

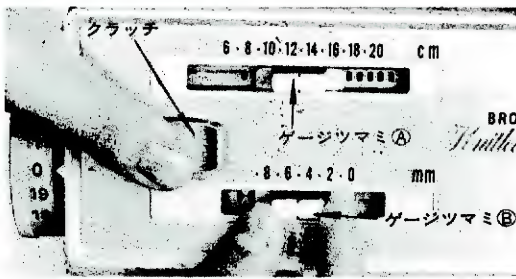


- (4) 編地が落ち着きましたら、編地の表を上にして机の上に置き、段数(タテ方向…別糸の内側60段)の長さが何センチ何ミリあるかを編地の中央付近で計ります。

また、目数(左右21目の糸じるしの内側から内側まで)が何センチ何ミリあるかを計ります。

〔注意〕 綿、麻、合繊などの糸は水を通して、自然乾燥させてから計って下さい。

◆編ゲージのセット方法



(1) 編ゲージを計ったとき、例えば段数60段の長さが13センチ5ミリあったとします。

クラッチをいっぱい押して上げ、ゲージツマミ①を目盛13に合わせ、ゲージツマミ②を目盛5に合わせます。

※クラッチは編み始めると、自動的にもどります。



(2) 目数40目の長さが13センチ2ミリであったとします。シートケースに貼ってある編目スケール早見表より、「14緑色」であることを知り、シートケースから「14」の編目スケールを抜き取ります。



(3) 「14」の編目スケールを132の数字が右上になるようにして、編目スケール差し込み口にドいっぱいまで差し込みます。

◆製図の写し方



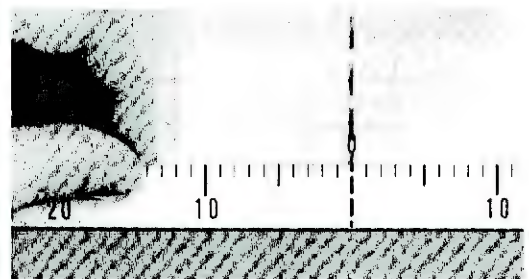
(1) 別売のブラザーホームニットイングパターンを机に置き、その上に表側を上にしたシートをのせます。

シートの中心線をパターンの中心線に合わせ、付属のブラザーペンで正しく写します。

※シートは数字が正しく見える方が表です。

※編み始め線をシートの目盛5cmの線に合わせて下さい。

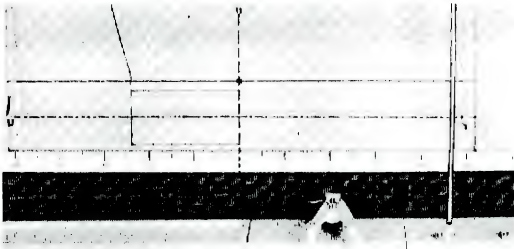
※間違ったときや、書き直したいときは、布に水を含ませて上から軽くふけば消えます。



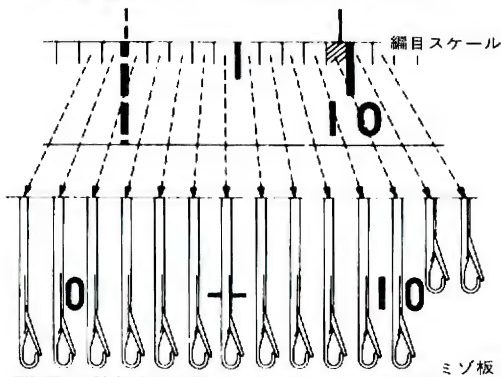
(2) シートをニットリーダーにセットして、シートの中心線に編目スケールの中心線を合わせます。

ブラザーホームニットイングパターンを各種取りそろえて別売りしていますので、ぜひご利用下さい。最寄のブラザー販売店または指定教室でお買い求め下さい。

◆編目スケール目盛の読み方



(1) 送りダイヤルを回し、シート製図の編み始め線を編目スケール上端に合わせます。



◎編目スケール目盛は、ミゾ板の針に対応します。

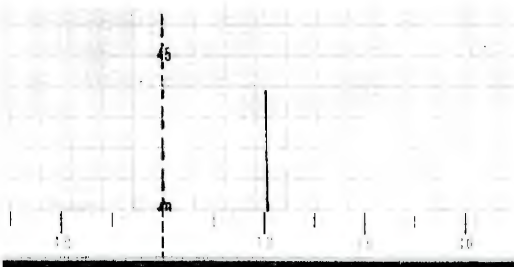
◎編目スケール目盛の数字は、ミゾ板の針番号（編目）を表わします。

◎この場合は、斜線の部分が10の針の領域を表わします。

※製図線が編目スケール目盛の領域（斜線部分）よりプラス側に越えたら、増し目、マイナス側に越えたら減らし目をしてください。

◎製図線が斜線内にある間は編目を増やしたり減らしたりせず、そのまま編み続けます。

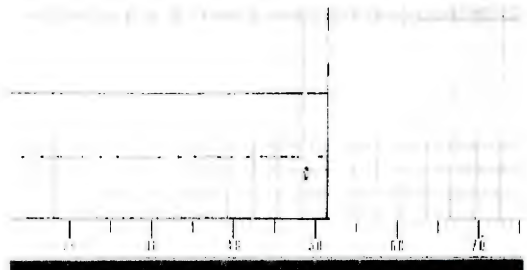
※(0-10……100)間の-は5の針を示します。



(2) この場合は11と読み、11番目までの編針を出して編みます。



(3) この場合は9と読み、9番目までの編針を出して編みます。



(4) 上の場合は52と読み、左右52本の編針を出します。

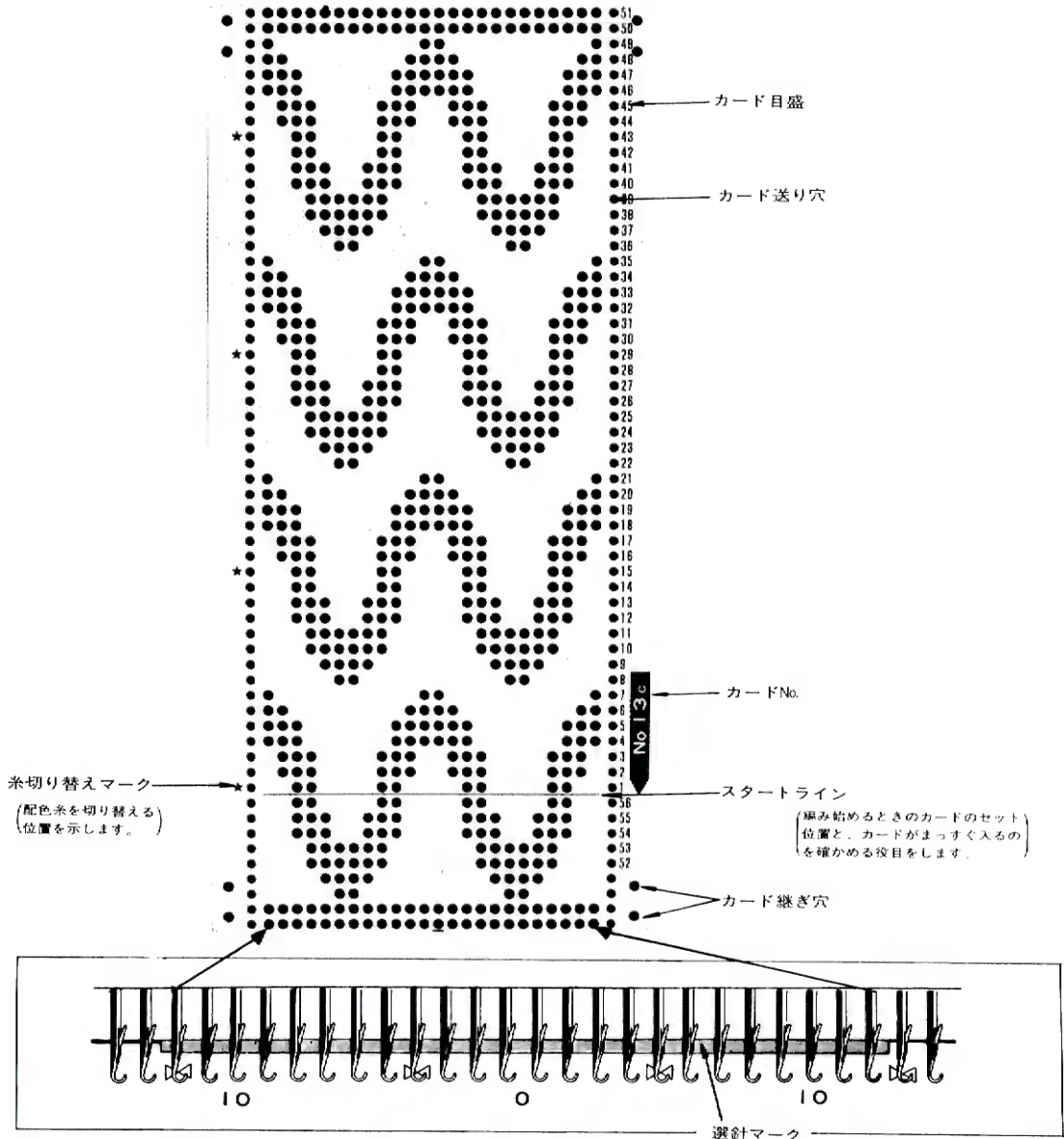
二 注 意

- (1) 編み幅がせまいときでも、キャリジは送りレバーを通過するまで動かして下さい。
- (2) ゲージツマミA・Bは、必ずクラッチを押してから操作して下さい。
- (3) シートが送り歯に食い込んだ場合は、送りダイヤルを逆方向へ回してシートをはずして下さい。
- (4) シートのよごれは、中性洗剤を布にしみこませてふきとって下さい。
- (5) シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどは使わないように注意して下さい。

模様編の編み方

- ◎ブラザー編機バリエ <831> は、パンチカードの活用によりあらゆる模様を自由自在に編み上げます。
- ◎パンチカードは、一度セットすれば繰返し何回でも模様を編むことができます。
- ◎付属のパンチカードは、No.1c~No.20c まで 20種類あります。
- ◎この説明書では20枚を使い、46通りの模様を編んで見ました。

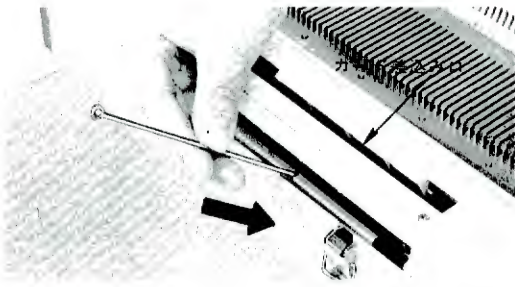
◆パンチカードと編針の関係



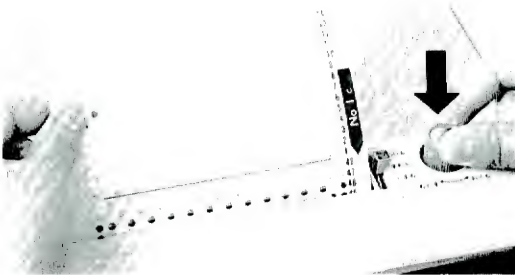
※ミゾ板目盛板の選針マークの範囲 (24針) が、目数方向の1模様になります。

※カードはミゾ板目盛0を中心に、左右12本の編針に対応し、穴のあいている部分が選針されます。

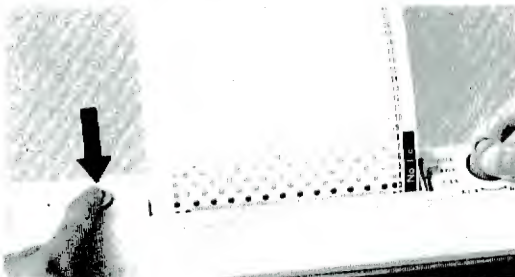
◆パンチカードのセット方法



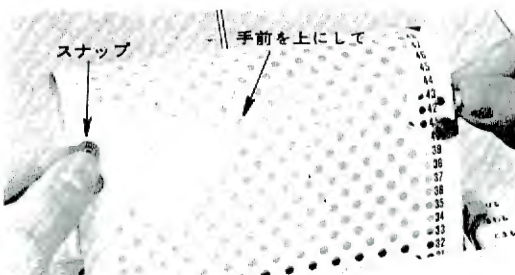
(1) カード支えをカード差し込み口の後方の穴に差し込みます。



(2) カードを差し込み口に真っすぐ差し込み、送りツマミを押し下げて2～3ピッチ〈おくる〉方向にまわします。

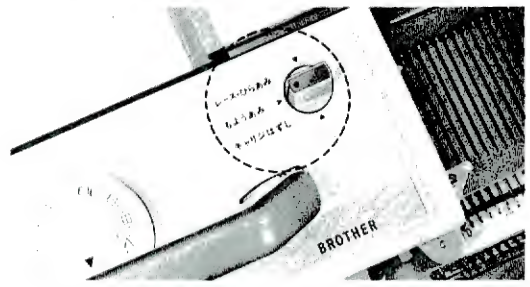


※カード送りボタンを押すと、送りツマミが下がり、回わしやすくなります。

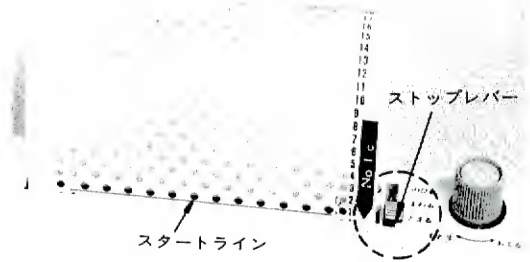


(3) カードを巻き込み、付属のスナップでカードの両端をつなぎ合わせます。

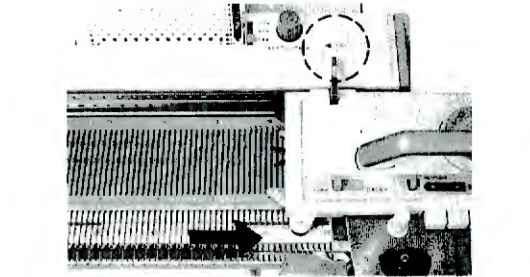
◆模様編の準備



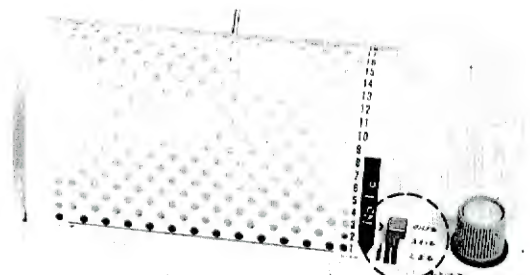
(1) 少し平編を編んでからキャリジを〈左側〉に置き、選針切替ツマミを〈もようあみ〉にします。



(2) パンチカードをセットしてスタート位置に合わせて、ストップレバーを〈とまる〉にします。

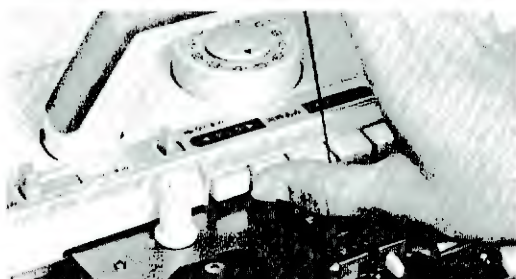


(3) キャリジを左から右へ操作すると、編針が選針されます。(このときパネル右端にキャリジの進行方向を示す▶マークが出ます。)



(4) ストップレバーを〈まわる〉にします。

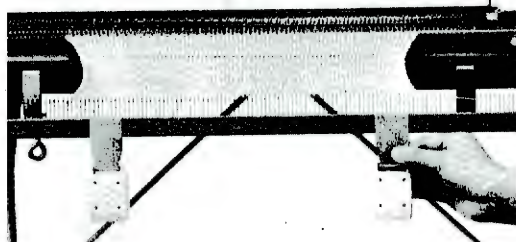
タック編



◎模様編の準備が完了したら、カムボタンの
タック左右を押して編みます。

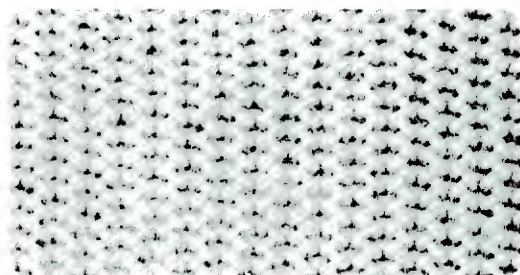


◎編地の端針が選針されてないときは、編む前
にD位置に針を出してから編みます。



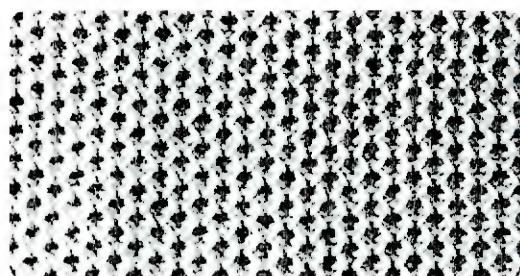
※編地の端にカラーウェイトを掛けておきます。
※カラーウェイトは編地が長くなったらかけな
おして下さい。

〔カードNo. 1 c〕



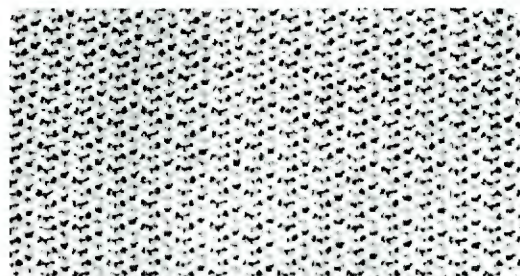
糸……中細
1 模様 2 目 2 段
編目ダイヤル…… 5

〔カードNo. 2 c〕



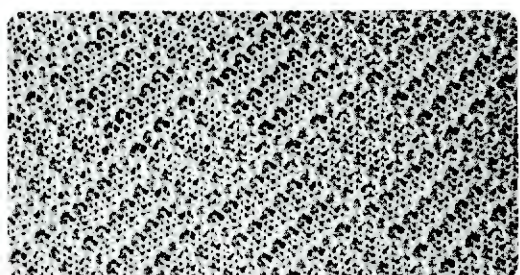
糸……中細
1 模様 2 目 4 段
編目ダイヤル…… 5

〔カードNo. 3 c〕



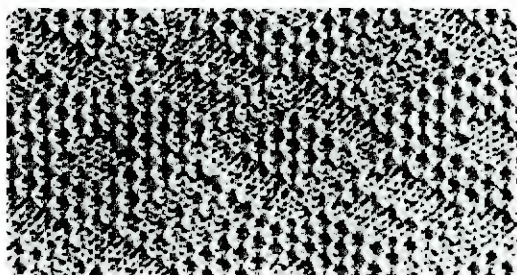
糸……中細
1 模様 4 目 4 段
編目ダイヤル…… 5

〔カードNo. 5 c〕



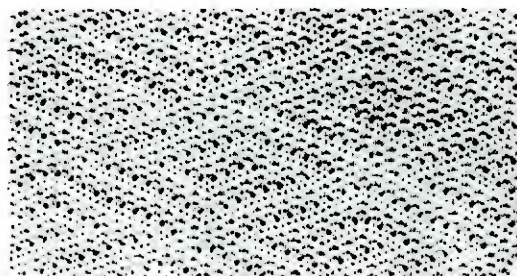
糸……中細
1 模様 12 目 24 段
編目ダイヤル…… 5

[カードNo.7c]



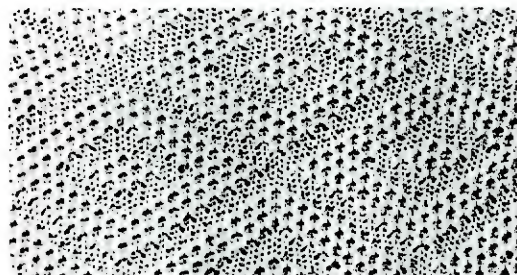
糸……中細 1 模様24目48段
編目ダイヤル…… 5

[カードNo.10c]



糸……中細 1 模様24目48段
編目ダイヤル…… 5

[カードNo.11c]



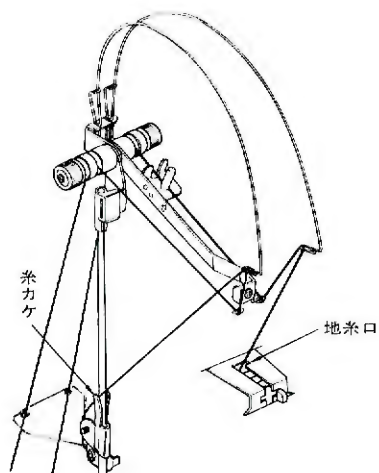
糸……中細 1 模様24目48段
編目ダイヤル…… 5

配色タック編

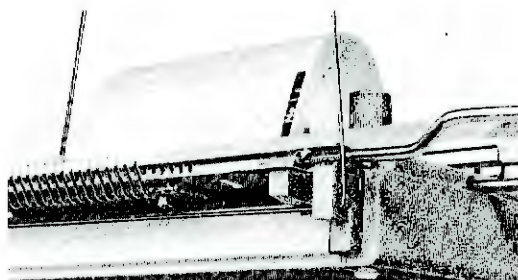
● 2色の糸を使い、地糸口の糸を2段毎に切替
えながら編む模様です。

- (1) 模様編の準備が終了したら、カムボタンの
タック左右を押します。
- (2) 地糸口の糸を、2段毎に切り替えながら編
みます。

◆糸口糸の切り替え方

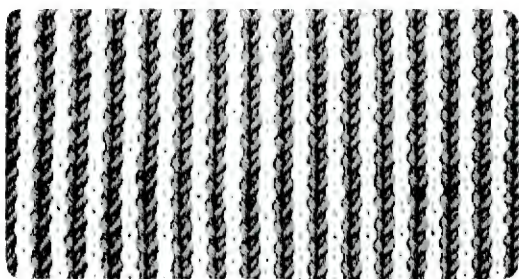


- イ。糸取装置に2本の糸を通しておきます。
- ロ。最初に編む糸は地糸口に通し他の糸を糸カ
ケにはさんでおきます。



- ハ。糸を切り替えるときは、地糸口の糸ははず
し、本機の端にかけて休ませしておきます。
次に編む糸を地糸口に通して編みます。

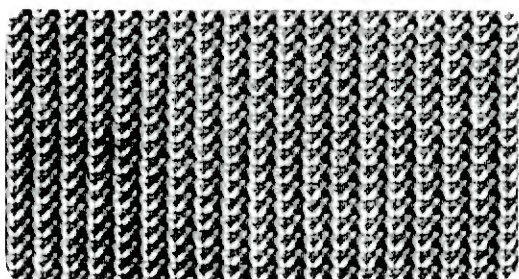
〔カードNo.2c〕表



糸……中細

1 模様 2 目 4 段
編目ダイヤル…… 5

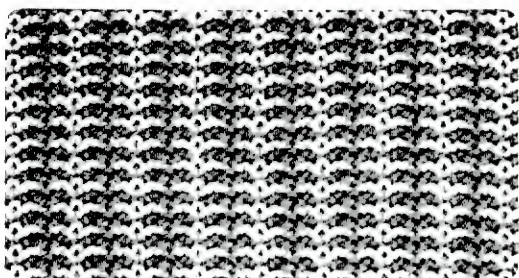
〔カードNo.2c〕裏



糸……中細

1 模様 2 目 4 段
編目ダイヤル…… 5

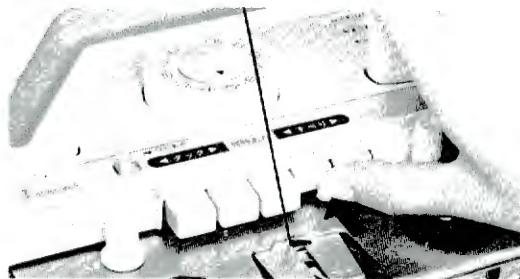
〔カードNo.3c〕



糸……中細

1 模様 4 目 4 段
編目ダイヤル…… 5

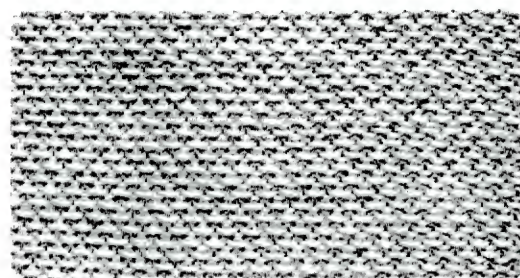
すべり目編



◎模様編の準備が完了したらカムボタンのすべり左右を押します。

※編地の端針が選針されていないときは編む前にD位置に針を出してから編みます。

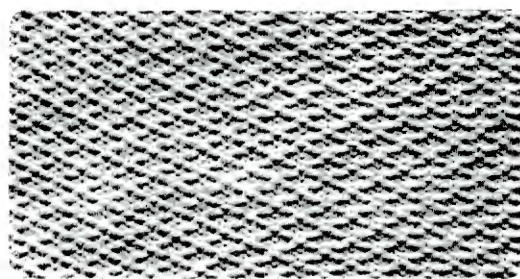
〔カードNo.2c〕



糸……中細

1 模様 2 目 4 段
編目ダイヤル…… 5

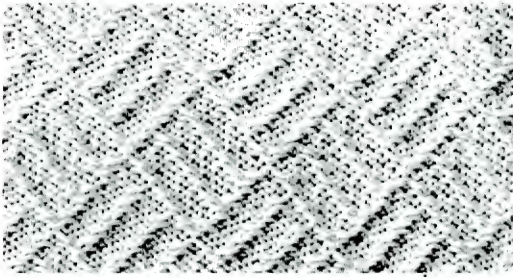
〔カードNo.3c〕



糸……中細

1 模様 4 目 4 段
編目ダイヤル…… 5

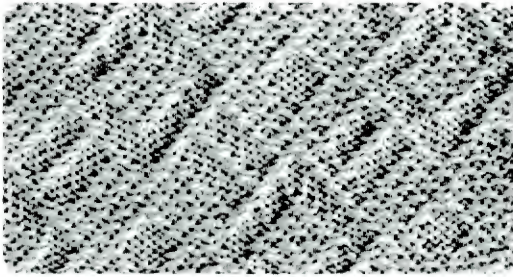
〔カードNo.5c〕



糸……中細

1 模様12目24段
編目ダイヤル…… 5

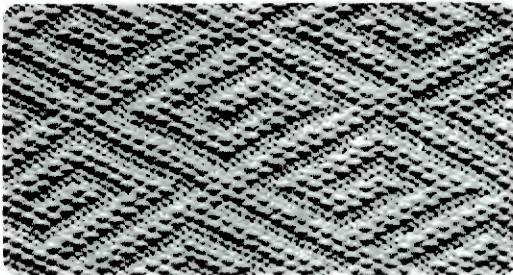
〔カードNo.7c〕



糸……中細

1 模様24目48段
編目ダイヤル…… 5

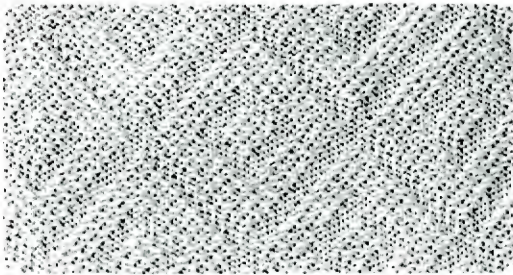
〔カードNo.10c〕



糸……中細

1 模様24目48段
編目ダイヤル…… 5

〔カードNo.11c〕



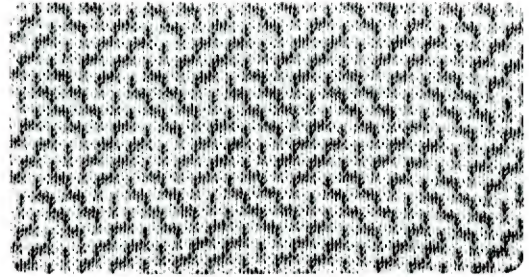
糸……中細

1 模様24目48段
編目ダイヤル…… 5

配色すへり目編

- (1) 模様編の準備が完了したらカムボタンのすべり左右を押します。
- (2) 地糸口の糸を2段毎に切り替えながら編みます。

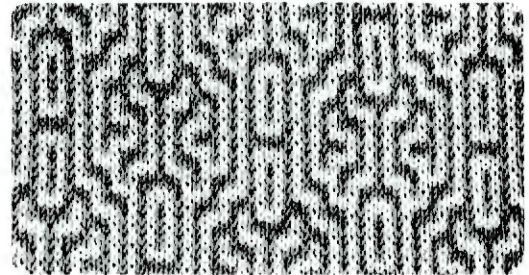
〔カードNo.5c〕



糸……中細

1 模様12目24段
編目ダイヤル…… 5

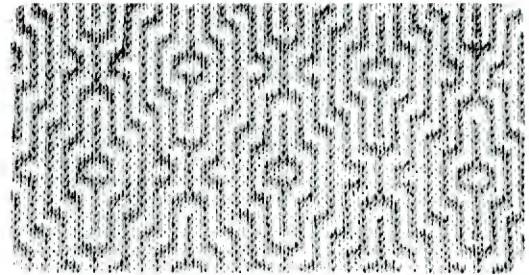
〔カードNo.7c〕



糸……中細

1 模様24目48段
編目ダイヤル…… 5

〔カードNo.11c〕

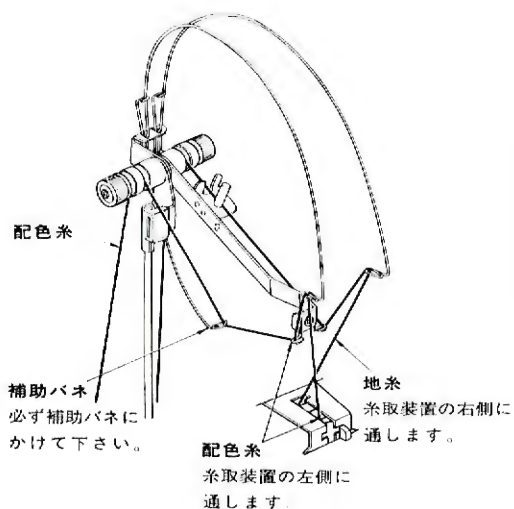


糸……中細

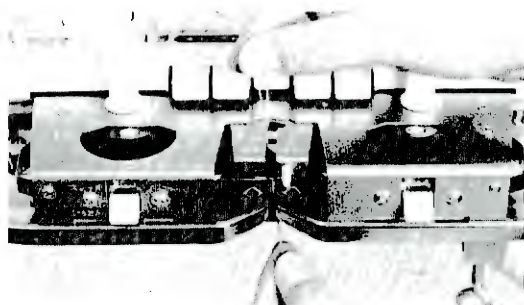
1 模様24目48段
編目ダイヤル…… 5

同時編込模様

(同時編込模様を編む時は、必ず補助バネを使用して下さい。)



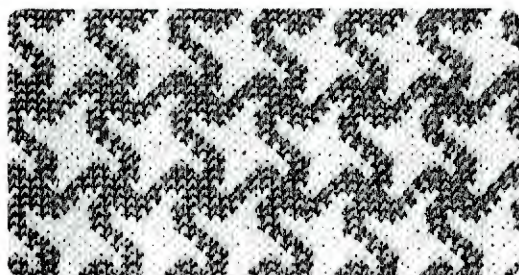
(1) 模様編の準備が終了したら、カムボタンの同時あみを押します。



(2) 配色糸を糸取装置に通し、色糸口に入れます。

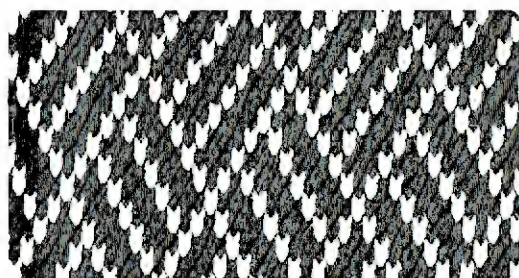
※キャリジ側の編地の端針が選針されていないときは、編む前にD位置に針を出してから編みます。

〔カードNo.4 c〕



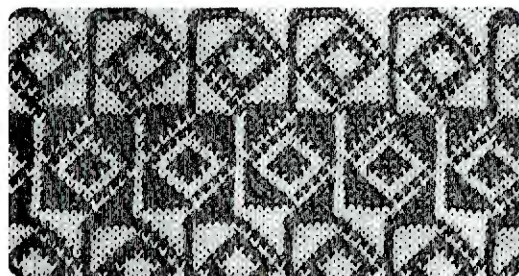
糸……中細
1 模様9目10段
編目ダイヤル……5

〔カードNo.5 c〕



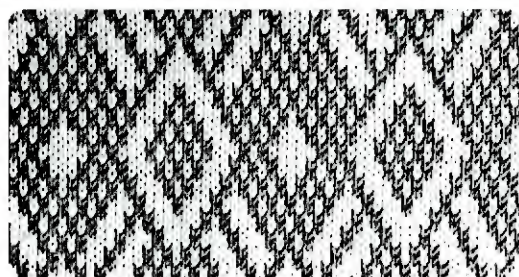
糸……中細
1 模様12目124段
編目ダイヤル……5

〔カードNo.6 c〕



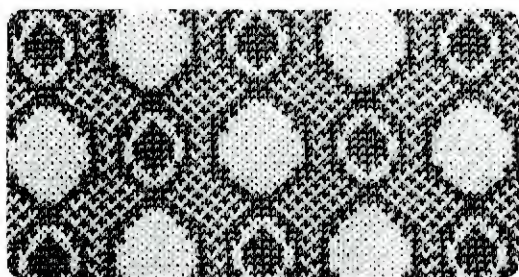
糸……中細
1 模様12目26段
編目ダイヤル……5

〔カードNo.7 c〕



糸……中細
1 模様24目48段
編目ダイヤル……5

〔カードNo.9c〕



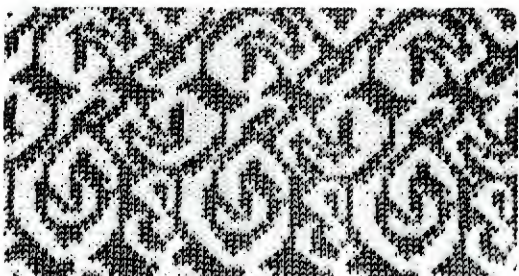
糸……中細 1 模様24目48段
編目ダイヤル……5

〔カードNo.11c〕



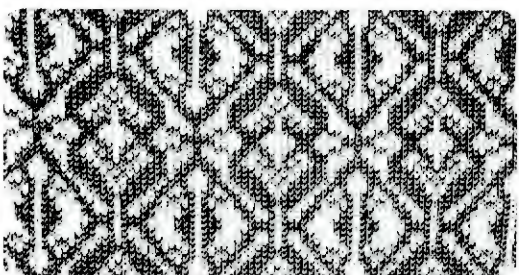
糸……中細 1 模様24目48段
編目ダイヤル……5

〔カードNo.12c〕



糸……中細 1 模様24目58段
編目ダイヤル……5

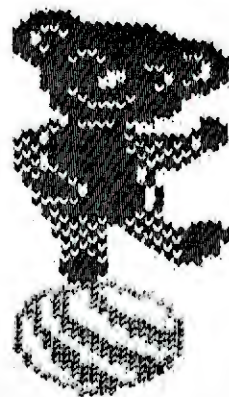
〔カードNo.14c〕



糸……中細 1 模様24目30段
編目ダイヤル……5

ワンポイント模様

●編地の中に部分的に模様を入れる編み方です
〔カードNo.15c〕

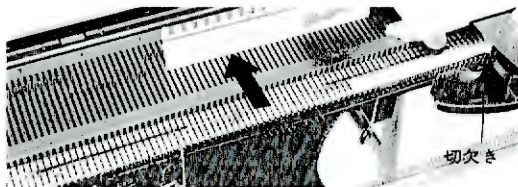


糸……中細 1 模様24目60段
編目ダイヤル……5

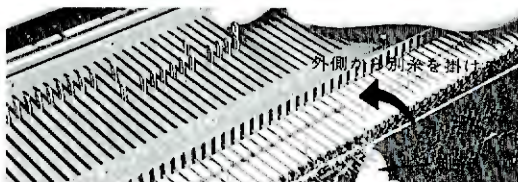
※カード目盛19★マークで、配色糸を切り替えて編んで下さい。

◎同時編込ワンポイント模様の場合は、D位置に選針された編針のうち、ワンポイント模様にする場所以外の編針を模様板を使ってB位置に戻します。

◎ミゾ板目盛板の選針マークが1模様です。



◎配色糸が編地押エの切欠きから、下側に通るのを確かめてから、キャリジを操作します。もしはずれたときは、下側に通し直してから編んで下さい。



◎1段編む毎に、キャリジ側の模様の端針の1つ外側の編針フックに、別糸をかけて編針をB位置に戻します。

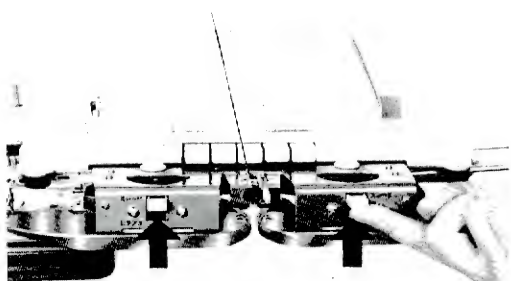
別糸に少し張力を加えながら編んで下さい。
※別糸は地糸と同じような色の細糸を使います。
※糸がつつたり、ゆるんだりしないように、特に配色糸のくり出しを良くしておきます。

スレッド編

●スレッド編は、平編に別糸を織り込む編み方で、普通では編めない変わり糸でも織り込むことができます。

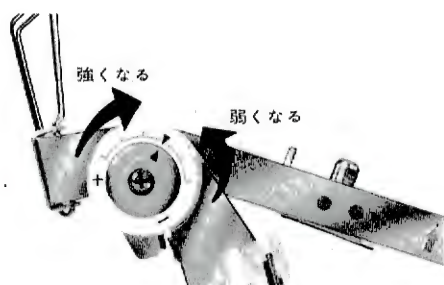
模様編の準備が終了したら次のようにセットします。

- (1) 太い糸を使うときは、編目ダイヤルを平編より1～2目盛大さくします。
- (2) カムボタンは、**ひらあみ**のままで編みます。



- (3) スレッドレバーを〈スレッド〉にします。
 - (4) 糸取装置にスレッド糸を通しておきます。
 - (5) スレッド糸の糸調子はマイナス側にします。
- ※編地の端針が選針されてないときは、編む前にD位置に針を出してから編みます。

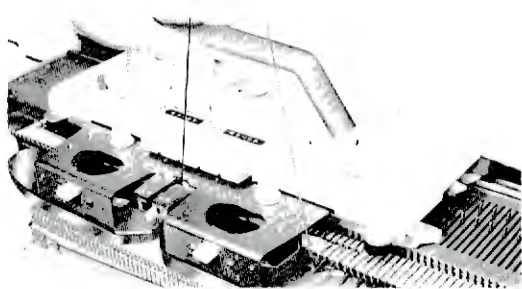
◆糸調子の取り方



※プラス側に回すと強くなり、マイナス側に回すと弱くなります。

※編糸に応じて調節します。中細糸は▼印に合わせます。並太・極太はマイナス側に合わせます。極細はプラス側にします。

◆スレッド糸の切り替え方

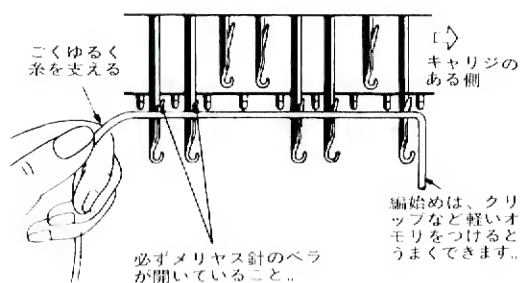


- (1) キャリジの糸案内からスレッド糸をはずし、反対側（進む側）にもってきてはなします。
- (2) スレッド糸が糸案内に入るのを確かめてから、キャリジを操作します。

※以下スレッド糸を左右に交換しながら編み進みます。

《スレッド糸が2色以上の場合》

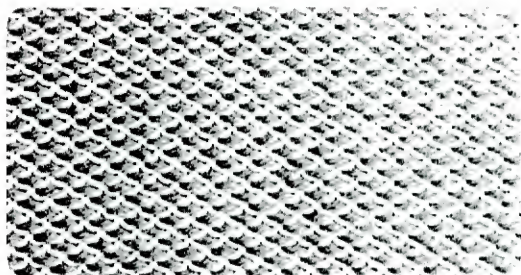
- ◎スレッド糸が2色以上の場合、糸取装置の糸を切り替えるか、手で先に渡しておきます。



手で渡す場合は

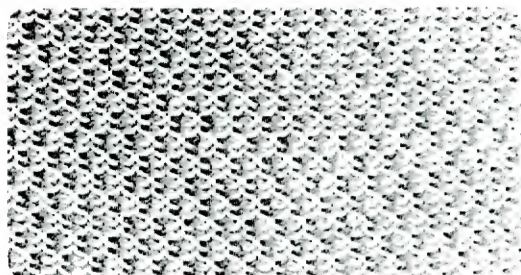
- (1) スレッド糸は必ずキャリジのある側から、クシ歯に近寄せて針の上に渡します。
- (2) スレッド糸の端は、糸がたるまない程度にゆるく支えます。

〔カードNo.1 c〕



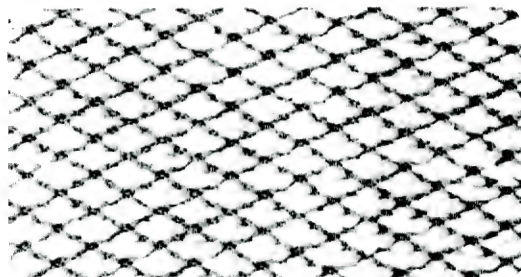
地糸……中細 1 模様2目2段
スレッド糸……並太 編目ダイヤル……6

〔カードNo.2 c〕



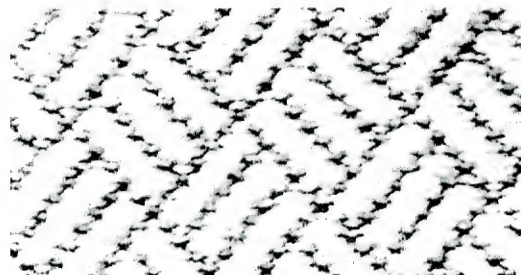
地糸……中細 1 模様2目4段
スレッド糸……並太 編目ダイヤル……6

〔カードNo.3 c〕



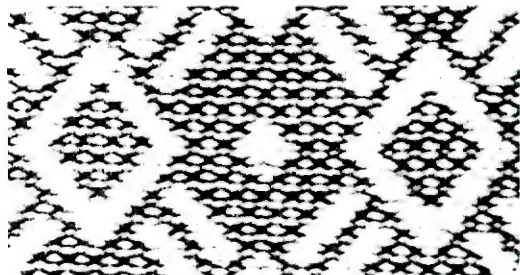
地糸……中細 1 模様4目4段
スレッド糸……並太 編目ダイヤル……6

〔カードNo.5 c〕



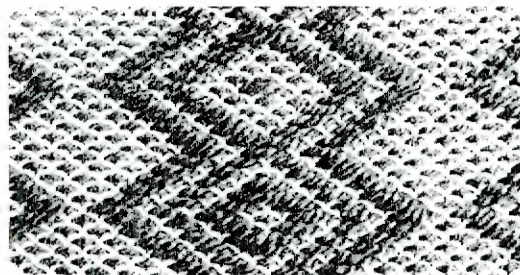
地糸……中細 1 模様12目24段
スレッド糸……極太 編目ダイヤル……7

〔カードNo.7 c〕



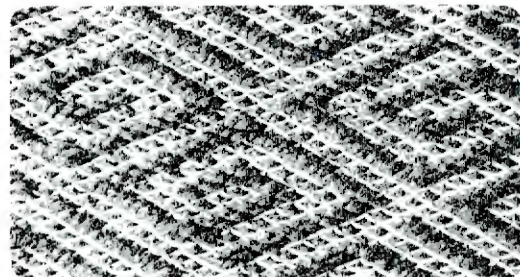
地糸……中細 1 模様24目48段
スレッド糸……極太 編目ダイヤル……7

〔カードNo.8 c〕



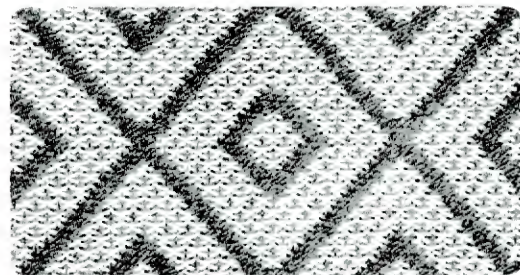
地糸……中細 1 模様24目24段
スレッド糸……極太 編目ダイヤル……7

〔カードNo.10 c〕



地糸……中細 1 模様24目48段
スレッド糸……並太 編目ダイヤル……6

〔カードNo.11 c〕



地糸……中細 1 模様24目48段
スレッド糸……極太 編目ダイヤル……7

間欠送り模様

●間欠送りを使った模様編は、模様を縦方向に2倍の大きさにのぼす編み方です。

●間欠送りは同時編込模様、スレッド編、すべり目編を編むときに使えます。

◆編み始め方

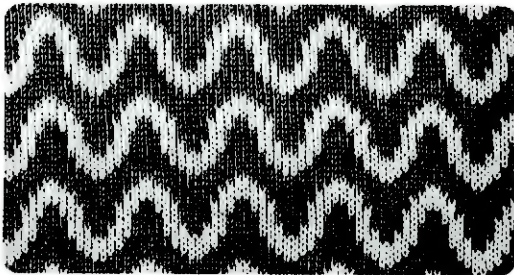
- (1) キャリジを〈右側〉に置き、選針切替ツマミをくもようあみにします。
- (2) ハンチカードをセットしてスタート位置に合わせ、ストップレバーをくとまる〉にします。
- (3) キャリジを右から左へ操作すると、編針が選針されます。
- (4) 各模様編に従ってカムボタンをセットします。さらに同時編込模様の場合は配色糸を糸糸口へ、スレッド編の場合はスレッド糸を糸案内へ入れます。
- (5) ストップレバーをくのびる〉にします。

※模様の途中へ間欠送りを入れる場合は、ストップレバーをカードの★マークで切り替えて下さい。

※カードは、キャリジを右から左へ操作したときに1段送られます。

□普通の同時編込模様

〔カードNo.13c〕

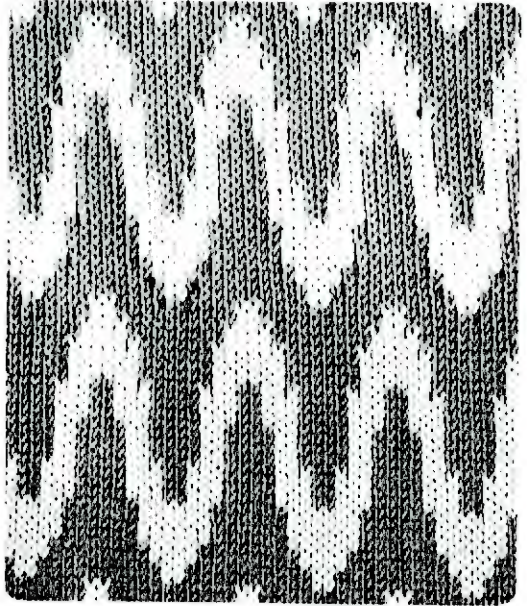


糸……中細

1 模様24目14段
編目ダイヤル……5

□間欠送りを使った同時編込模様

〔カードNo.13c〕



糸……中細

1 模様24目28段
編目ダイヤル……5

□間欠送りを部分的に使った同時編込模様

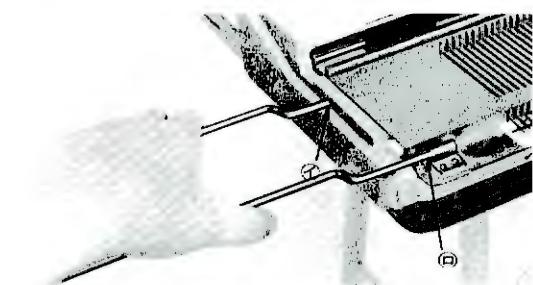
〔カードNo.13c〕



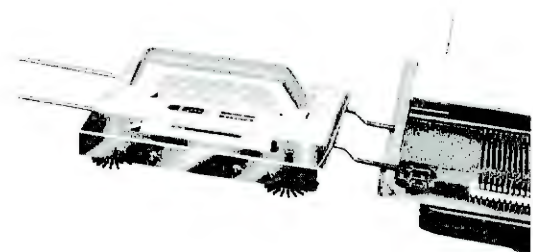
糸……中細

1 模様24目42段
編目ダイヤル……5

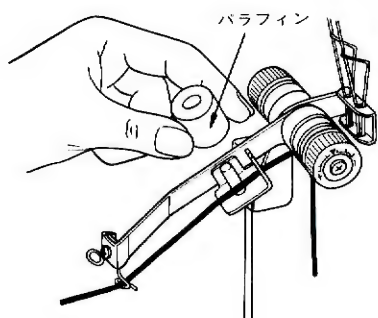
◆Lキャリジの使い方



(1) 補助レールを①、②の部分に差し込んで取り付けます。



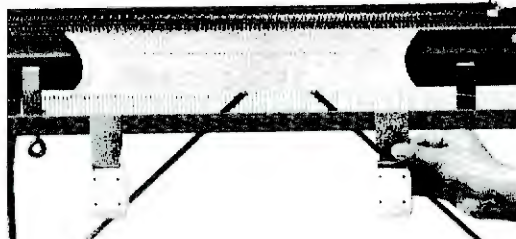
(2) Lキャリジを一旦左の補助レールに正しくのせてから、ミゾ板に滑り込ませます。



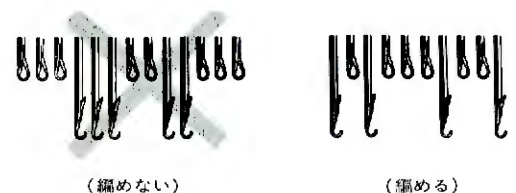
(3) レース編、タックレース編をするときはパラフィンを糸取装置に取り付けます。

使用糸	ダイヤル目盛
極細毛糸	4～5
合細毛糸	4～5
綿・化繊レース糸	4～5
中細毛糸	5～6

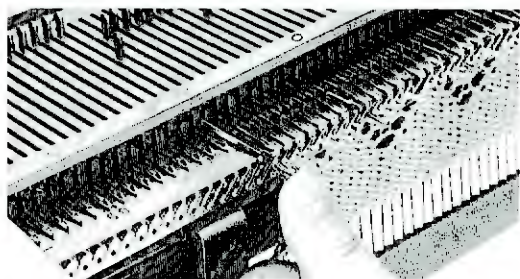
(4) レース編、タックレース編の場合は、編目ダイヤルを上表のように合わせます。



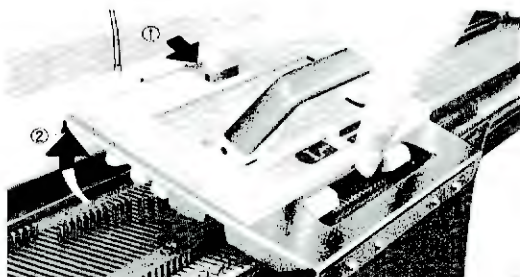
(5) レース編、タックレース編をするときは、編出しにカラーウェイトを平均にかけます。
※カラーウェイトは、編地が長くなったらかけなおして下さい。



(6) レース編、タックレース編の場合は、編針を2本以上並んで選針しますと編めません。

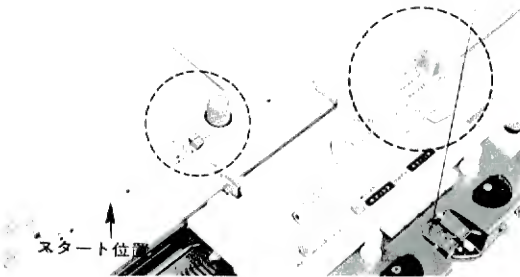


(7) 一番端の編針が選針されたときは、必ず指で押し戻します。

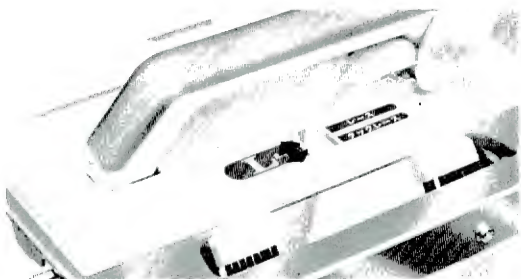


(8) Lキャリジは、ハズシボタンをいっぱい押せばミゾ板の途中でもはずせます。

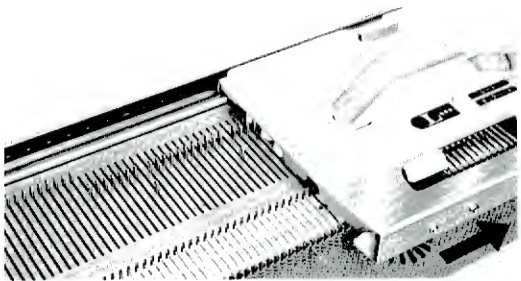
◆レース編・タックレース編の準備



- (1) 少し平編を編んでからキャリジを〈右側〉に置き、選針切替ツマミを〈レースあみ・ひらあみ〉にします。
- (2) パンチカードをセットしてスタート位置に合わせ、ストップレバーを〈とまる〉にします。

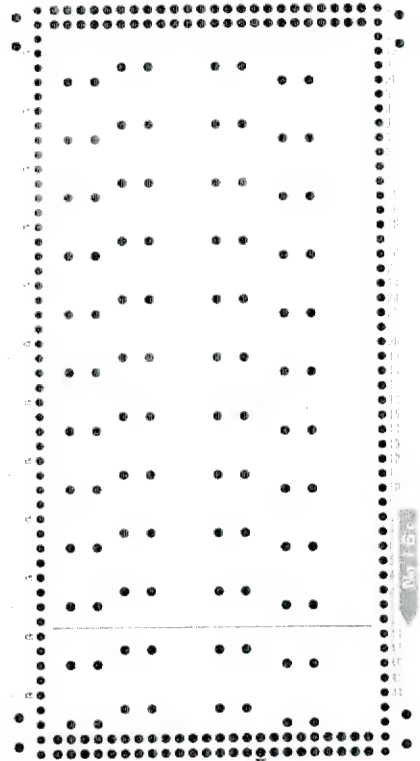


- (3) Lキャリジを〈左側〉に置き、L切替ツマミを編む模様に切り替えます。レース編のときは〈レース〉、タックレース編のときは〈タックレース〉にそれぞれツマミを切り替えます。



- (4) Lキャリジを左から右へ操作しますと、編針が選針されます。
 - (5) ストップレバーを〈まわる〉にします。
- ※これで準備は終了です。

後はパンチカード左端の矢印に従って、LキャリジとKキャリジを操作します。



- ◎カードの赤い矢印(↓)は、Lキャリジを操作する方向を示します。

矢印の示す方向にLキャリジを操作して下さい。(カードが送られます)

- ◎青い矢印(↑)は、Kキャリジを一往復(2段編む)することを示します。

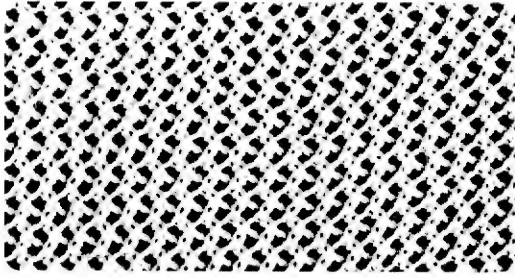
↓と(↑)が並んでいるときは、KキャリジをLキャリジより先に操作します。

- ※Kキャリジを操作するときは、必ずLキャリジが左に来たときですから、キャリジを途中ではずしたり、入れ替える必要はありません。

- ※Lキャリジは、途中で戻さないで下さい。糸のかかっている編針を完全に通過してから戻して下さい。

レース模様

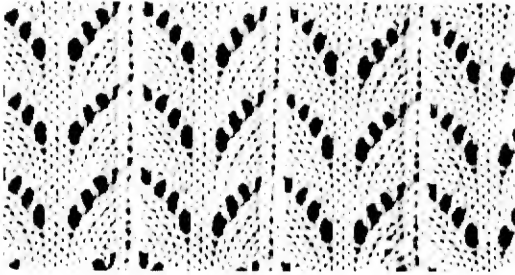
〔カードNo.17c〕



糸……中細

1 模様 2 目 4 段
編目ダイヤル…… 5

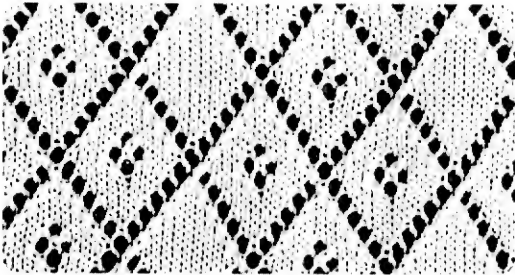
〔カードNo.18c〕



糸……中細

1 模様 12 目 8 段
編目ダイヤル…… 5

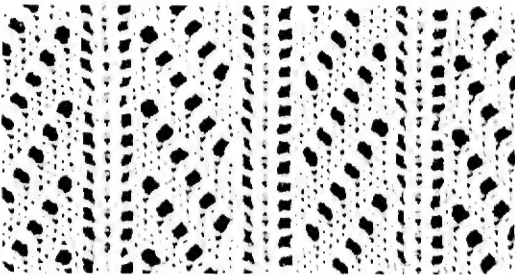
〔カードNo.19c〕



糸……中細

1 模様 24 目 24 段
編目ダイヤル…… 5

〔カードNo.20c〕

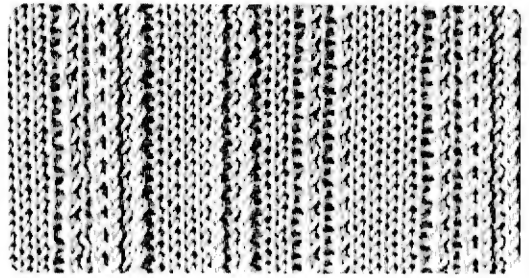


糸……中細

1 模様 24 目 24 段
編目ダイヤル…… 5

タックレース模様

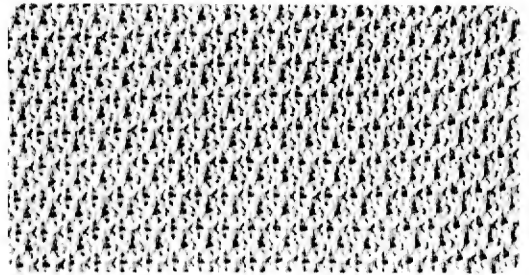
〔カードNo.16c〕



糸……合細

1 模様 24 目 2 段
編目ダイヤル…… 4

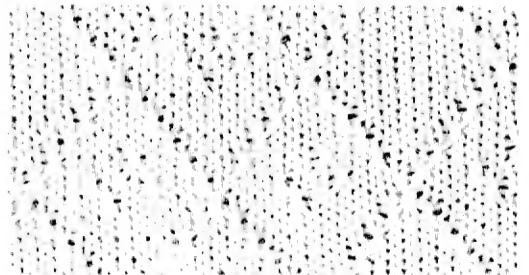
〔カードNo.17c〕



糸……合細

1 模様 2 目 4 段
編目ダイヤル…… 5

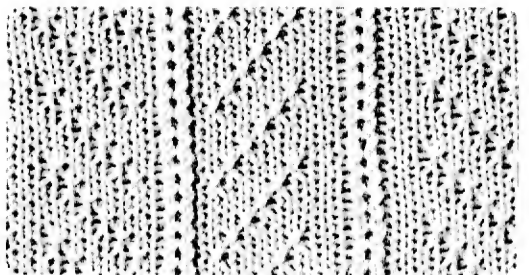
〔カードNo.19c〕



糸……合細

1 模様 24 目 24 段
編目ダイヤル…… 5

〔カードNo.20c〕



糸……合細

1 模様 24 目 24 段
編目ダイヤル…… 4

※ 知っておきたいことから ※

◆編んでいる途中でキャリジが動かなくなるとき……………

- ◎無理に動かさず、キャリジをはずして編み直して下さい。



- (1) 編地押エをはずします。
- (2) 選針切替ツマミを〈キャリジはずし〉に合わせ、キャリジを手前に持ち上げてはずします。
- (3) 選針切替ツマミを戻し、キャリジをミゾ板の端からレールにのせます。
- (4) 編地押エを取り付けます。
- (5) 途中まで編んだ編地をほどきます。

(注意) キャリジが正しくレールにのっていることを確かめてから編み始めて下さい。

◆編地のほどき方



- ◎編み終り側の編糸をクシバの線に平行に引いて編目を引きしぼり、編糸を斜め上に引張って編糸をフックからはずすようにしますと、前の段の編目が自然に編針のフックにかかります。

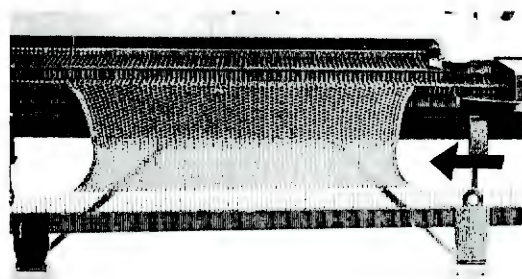
◆Kキャリジを空送りしたいとき

- (1) 編針が選針されている場合は、B位置に戻します。(編目がべら抜けした所は、ウツシを使ってB位置に戻します。)
 - (2) カムボタンの〈すべり左右〉を押してキャリジを操作すれば、編まないで空送りができます。
 - (3) 編針がE位置にある場合は、引返シレバーを〈引返しあみ〉に切り替えて空送りします。
- ※選針しながら空送りするときは、選針切替ツマミを〈もようあみ〉にしておきます。

◆編み間違えたときの直し方

1. 平編の場合

- (1) キャリジをはずし、編地のない部分に置きます。(編んでいる途中でキャリジが動かなくなるとき……………)を参照して下さい。
- (2) 糸口の糸をはずして編地をほどきます。



- (3) 糸端がキャリジの反対側になった場合は、キャリジを空送りして糸端側へ移します。
- (4) キャリジを平編状態に戻し、糸口に糸を入れて編みます。

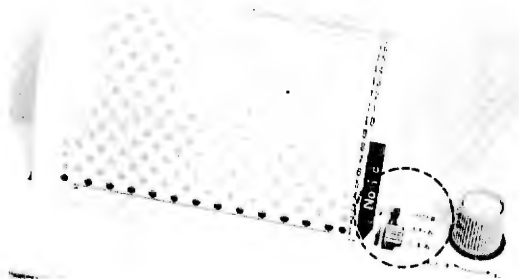
2. ニットリーダーを使っている場合



- ◎編地をほどいた段数だけ、送りダイヤルを向こう側に回してシートを戻します。
- ◎キャリジを空送りする場合は、必ずキャリジの作動レバーを上げておきます。

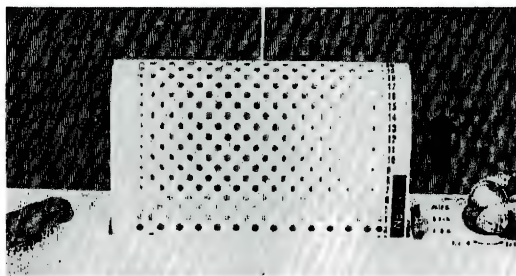
3. 模様編の場合

《キャラジが編地の途中にある場合》



- (1) ストップレバーを〈とまる〉にします。
- (2) キャラジをはずし、進行側の編地のない部分に置きます。
- (3) ベラ抜けしている編目をフックにもどしてから、編針をB位置に揃えます。
- (4) 糸口の糸をはずして編地をほどきます。

※1・3・5…段と奇数段数をほどき、糸端がキャラジの反対側になるようにします。編針をB位置に揃えます。



- (5) パンチカードを編地をほどいた段数だけ戻します。
- (6) カムボタンの〈すべり左右〉を押し、キャラジを糸端のある側へ操作します。(編針が選針されます。)
- (7) カムボタンを模様編の状態に戻し、ストップレバーを〈まわる〉にします。
- (8) 糸口に糸を入れて編みます。

《キャラジが編地の外側にある場合》

※キャラジは動かさずに、ストップレバーを〈とまる〉にします。



- ◎パンチカードが送られている場合（指示マークがキャラジの進行方向と同じとき）は、パンチカードを編地をほどいた段数+1段戻します。
- ◎パンチカードが送られていない場合は、編地をほどいた段数だけ戻します。
- ◎他の操作は（キャラジが編地の途中にある場合）と同じように行って下さい。

4. 間欠送りを使っている場合

◎キャラジが編地の途中にある場合のパンチカード戻し段数。

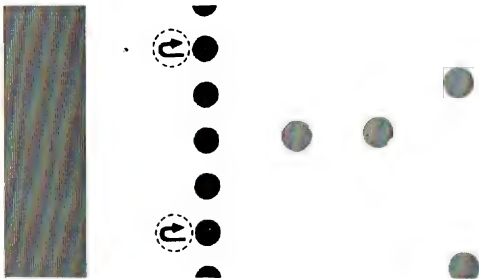
編地をほどいた段数	キャラジの進行方向	
	左 → 右	左 ← 右
1	0	1
3	1	2
5	2	3
7	3	4
⋮	⋮	⋮

- ◎上の表に従ってパンチカードを戻します。
- ◎他の操作は、模様編の場合と同じように行って下さい。

※キャラジが編地の外側にあつてパンチカードが送られている場合は、上の表の戻す段数より1段余分に戻して下さい。

5. Lキャリジを使っている場合

- (1) ストップレバーを〈とまる〉にします。
- (2) Lキャリジを操作して左側へ置きます。
- (3) 移った編目がある場合は、ウツシを使って元の編針に戻します。(次項の(5)、(6)を参照して下さい。平編状態になります。)
- (4) 編地を2段ほどききます。
(糸端は右側になっています。)

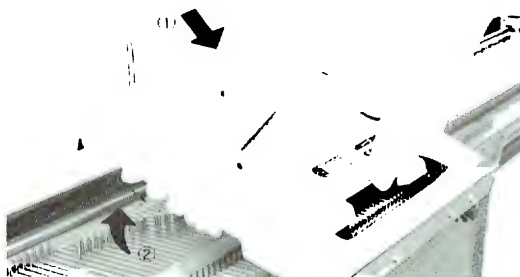


- (5) ハンチカードを1つ前のCマークまで戻します。
 - (6) (3)~(5)をくり返して希望の部分まで、編地をほどきます。
 - (7) ストップレバーを〈まわる〉にします。
- ※再び編む場合は、Kキャリジを一往復操作してから、Lキャリジをカード通りに操作します。

◆編んでいる途中でLキャリジが動かなくなったとき……

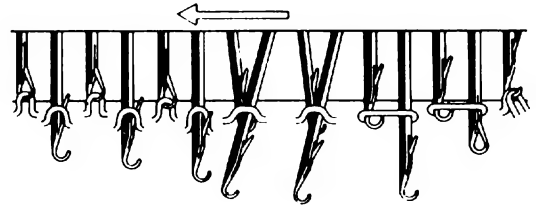
※無理に動かさないで下さい。

- (1) ストップレバーを〈とまる〉にします。

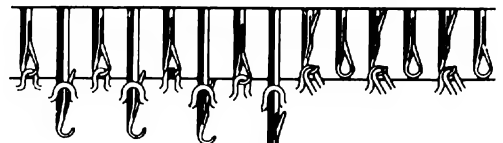


- (2) Lキャリジをその位置ではずします。
編針に引っかかっているときは、よく見て無理のないようにはずして下さい。

- (3) Lキャリジを進行側の補助レールにはめ込みます。

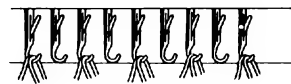


- (4) 2本重なっている編針がありましたら、針先を指で持ち上げてはずして下さい。



ウツシ

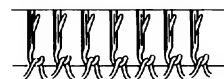
- (5) 図のように針ペラの向こうにある編目を、ウツシを使って針ペラの上に戻します。



(レース編)



(タックレース編)

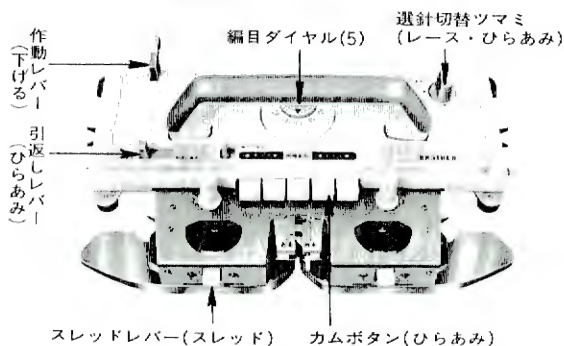


(平編)

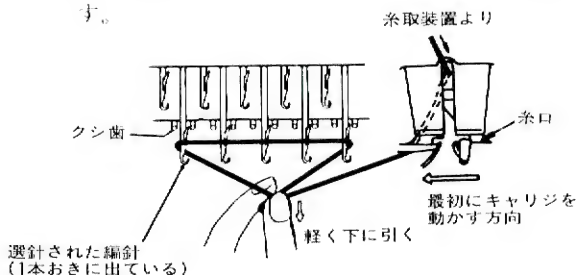
- (6) 移った編目を平編状態に戻します。
- (7) 出ている編針を全部B位置に戻します。
- (8) カードを1段戻します。
- (9) Lキャリジを1回操作します。
(選針されます。)
- (10) ストップレバーを〈まわる〉にします。
後は、Lキャリジをカード通りに操作します。

◆編出シを使わないで編始める方法

◎スレッド編装置を利用します。



- (1) キャリジを写真のようにセットします。
- (2) 編針をB位置に出し、キャリジをミゾ板の右側におきます。
- (3) 模様板牙を使い、編針をD位置に選針します。



- (4) 編糸を地糸口に通し、地糸口から出ている編糸を選針されている編針フックの上に渡して指でささえます。
 - (5) 編糸をごく軽く下に引ながら、キャリジをゆっくり動かして4～5段編みます。
- ※スレッド編以外を編む場合は、スレッドレバーを〈ひらあみ〉にします。

◆間違っ選針されたとき……

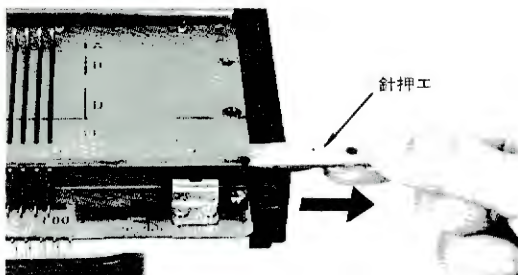
模様編のとき、間違っ選針される場合は、次の項目を調べて下さい。

1. パンチカードが傾むいて入っているとき……
こんな場合は、カードを正しく入れ直して下さい。
2. 編針が曲っているとき……
間違っ選針されている編針をE位置まで出し、曲っているようなら取り替えて下さい。

◆編針が曲ったとき……



- (1) 針押エを片方からミゾ板の中へ押し込みます。



- (2) 反対側に出た針押エを引き抜きます。(針押エの端が、取り替えたい編針から外れるところまで抜いて下さい。)



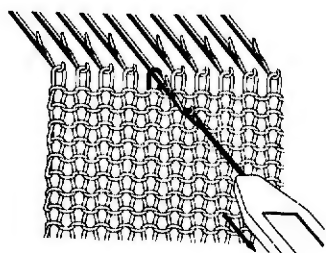
- (3) 取り替える編針を針ミゾの一番手前に引き出し、フック部分を下に押すと、シャンクがミゾ板の上に出ます。



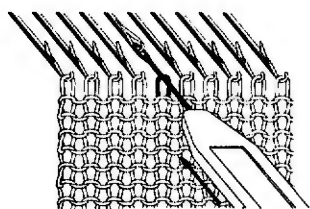
- (4) 編針のシャンクかバットをつまんで後へ引き抜きます。
 - (5) 新しい編針のペラを開いて、はずしたときと逆の順序で入れて下さい。
- ※針押エを差しこむときは、編針のフック側を順々に押し下げながら差し込んで下さい。

編目の移し方・減らし目・増し目

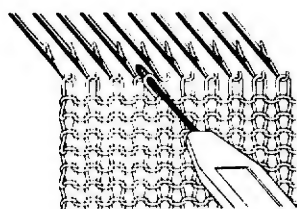
1. ウツシの使い方



(1) 編針フックにウツシの穴をかけて、矢印の方向に引き、編目をべらの向うに移します。



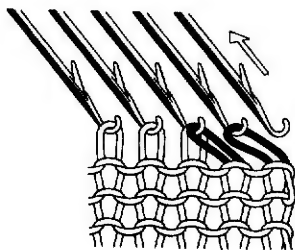
(2) 逆に押すと編目は、ウツシに移ります。



(3) 移したい編糸フックにウツシの穴をかけ、編目を編針に移します。

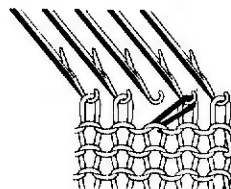
2. 減らし目

◆端から1目内側の減らし目

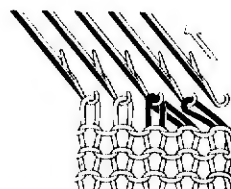


◎ 2本針のウツシを使って、端から2目を移し取り、内側にずらします。

◆2目立てる減らし目



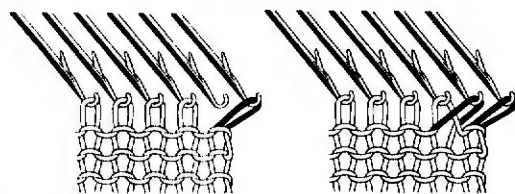
(1) 端から3番目の編目を移し取り、2番目に重ねます。



(2) この2目を一度に空針になった3番目の針に移します。
次に端の編目も2番目に移します。

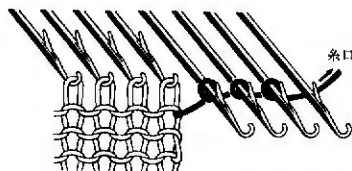
3. 増し目

◆1目立てる増し目



(1) 端の1目を移しとり、1目外側にずらせます。
(2) 2番目の1段下のループをウツシで引き上げ、空針にかけます。

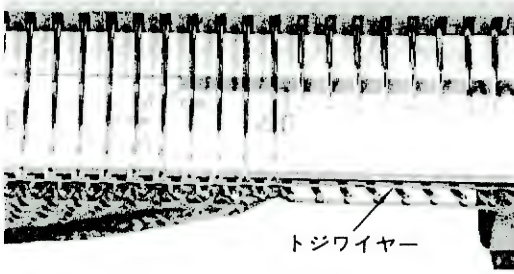
◆1度に2目以上の増し目



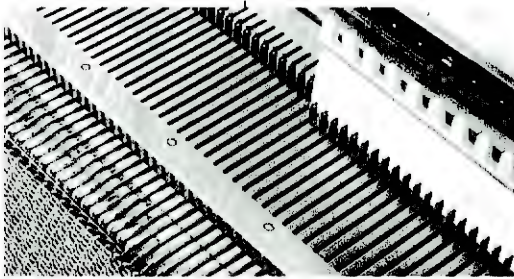
キャリジのある側で増し目するとき用います。

◎ 増し目する編針をE位置に出し、巻き目し、最後の目は編針を出すだけで編みます。

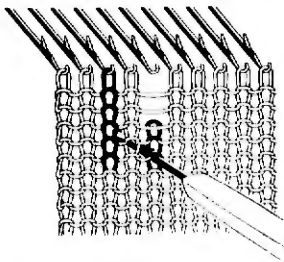
4. 1目ゴム編



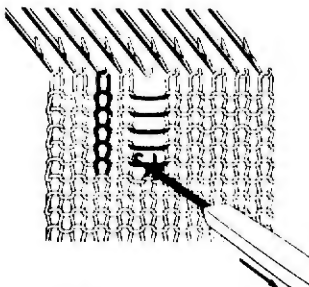
- (1) 編針とクシバの間に渡っている編糸の上に、トジワイヤーをのせます。



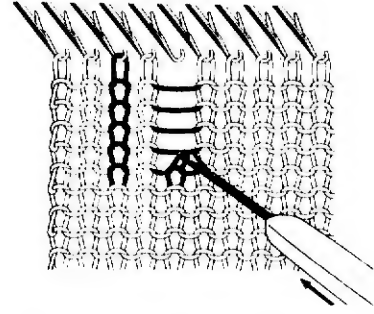
- (2) トジワイヤーが編針の下になるように、編針をクシバより少し前の位置まで出します。



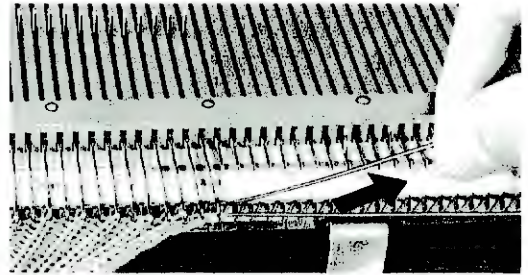
- (3) 裏目に直す最初の位置にタッピを入れてから、編目を編針からはずし、編地を下に引張って編目をときます。



- (4) タッピの編目をペラの後に移し、上の段の横糸をフックにかけ、タッピを引いて編目を作ります。

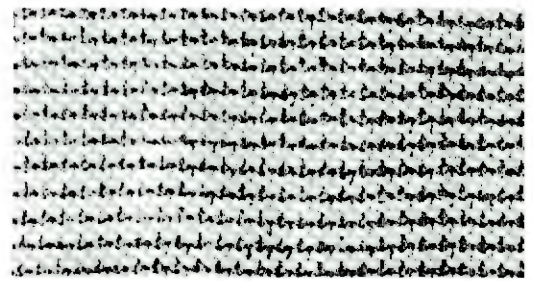


- (5) さらに上の横糸の下に、タッピを差し込みます。(4)、(5)をくり返し、最後の編目を編針にかけます。



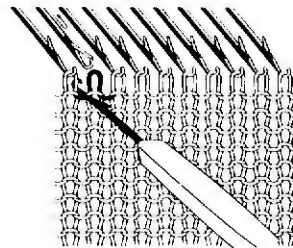
- (6) 1目ゴム編が終わりましたらトジワイヤーを引き抜きます。

5. ガーター編

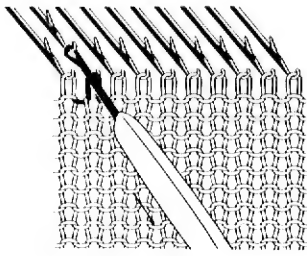


- ◎機械を平編の状態にセットします。

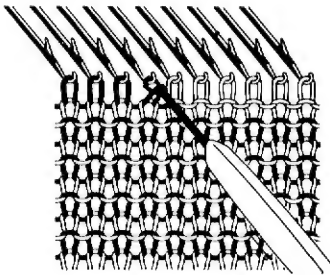
タッピを使って1段毎に、表目に直します。



- (1) 1段下の編目にタッピを入れ、編針の編目を外します。

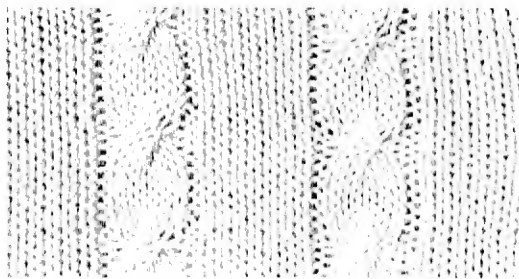


(2) 1段といた編目をタッピで編み、編針に移します。

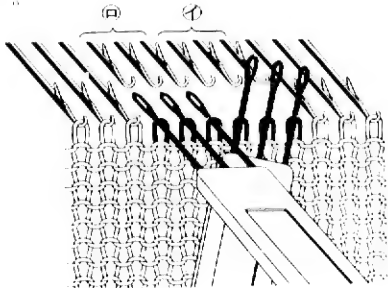


(3) (1)、(2)の操作を1段おさにくり返します。

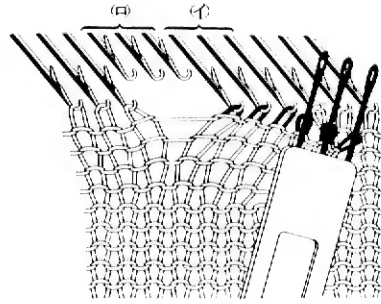
6. なわ編 (交差模様)



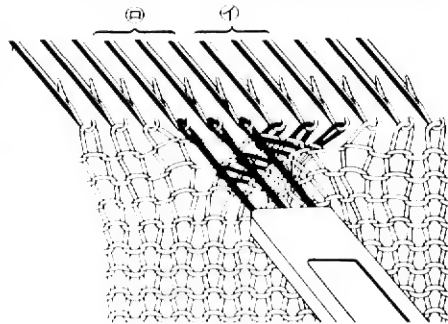
◎機械を平編の状態にセットします。9段平編しては図のように交差させます。2模様毎になわ編の両側を、タッピを使って裏目に直します。



(1) 交差する編目を、3目づつウツシに移し取ります。

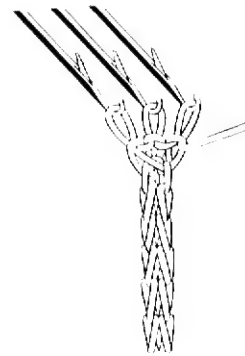


(2) ②の編目を①の空針に移します。



(3) ③の編目を②の空針に移します。

7. ひも編



(1) ひも編する編針を3目~4目出して、巻き目で作り目します。

(2) 編目をきれいにするために、編目ダイヤルを標準より小さく合わせます。

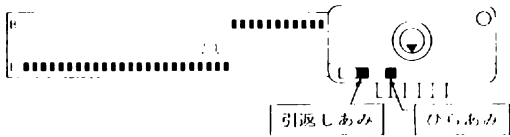
(3) カムボタンの〈すべり右又は左〉を押して編みます。



1. 平編の引返し編

◆編む部分を減らして行く場合

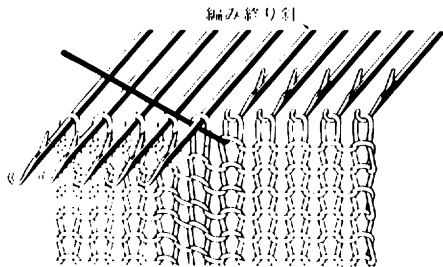
- ◎かたさかりやそでやまなど、傾斜した編地を編むときに使います。
- ◎引返しレバーを「引返しあみ」に合わせます。
- ◎選針切替ツマミを「ひらあみ」に合わせます。



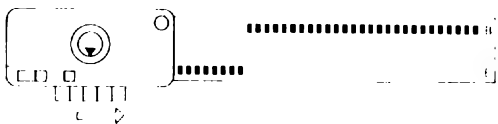
- (1) キャリッジと反対側の休める部分の編針を、E位置に出します。
- ※編針の数は、カーブや傾斜の形によって変わります。



- (2) 一段編みます。
- B位置の編針が編めて、E位置に出した編針の上に糸が渡ります。

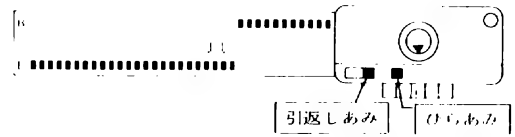


- (3) 引返した部分に穴ができないようにするため、編み終りのとなりのE位置の編針に、下側から渡った糸をくぐらせます。



- (4) キャリッジを引返して一段編みます。
- 休める編針を増しながら(1)、(2)、(3)、(4)、をくり返しますと、引返し編ができます。
- ※引返し編が終って、全体の編針を編みたいときは、引返しレバーを「ひらあみ」に切り替えて編みます。

◆編む部分を増して行く場合

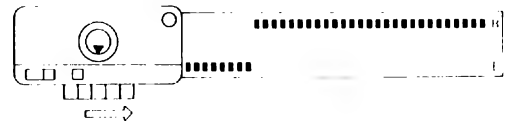


- (1) キャリッジと反対側の、休める部分の編針をE位置に出します。

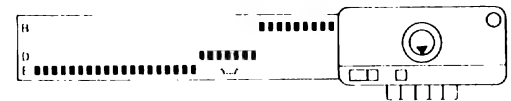


- (2) 一段編みます。
- B位置の編針が編めて、E位置に出した編針の上に糸が渡ります。

- (3) 引返した部分に穴ができないようにするため、編み終りのとなりのE位置の編針に、下側からくぐった糸を渡らせます。



- (4) キャリッジを左から右へ、一段編みます。



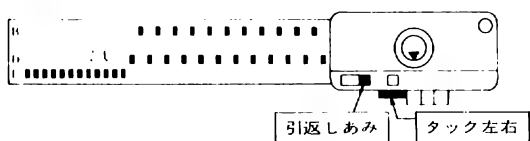
- (5) 次に編むE位置の編針を、D位置に押し下げます。

- (2)~(5)をくり返しますと、最後に全部の編針がB位置に並び、引返し編ができます。

2. 総タック編の引返し編

- ◎ここでは総タック編で、2段毎に引き返す場合の説明をします。
- ◎カムボタンの「タック左右」を押し、引返しレバーを「引返しあみ」にします。
- ◎選針切替ツマミを「もようあみ」に合わせ、No.1cのパンチカードをセットしておきます。

◆編む部分を減らして行く場合

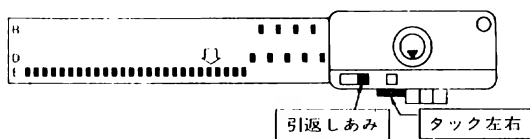


- (1) キャリジと反対側の休める部分の編針を、E位置に出します。

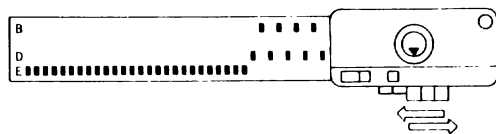


- (2) 2段編みます。
一段編んだとき、E位置の端の編針に編糸をかけて下さい。平編の引返し編と同じ操作をします。
(1)~(2)をくり返します。

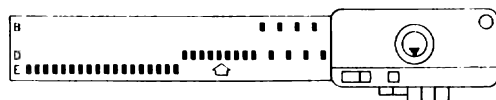
◆編む部分を増して行く場合



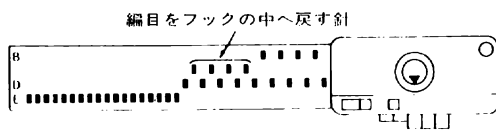
- (1) キャリジと反対側の休める部分の編針を、E位置に出します。



- (2) 2段編みます。
一段編んだとき、E位置の端の編針に編糸をかけて下さい。



- (3) 次に編む部分の編針を、D位置に押し下げます。



- (4) 模様に合わせて、B位置まで押し下げる編針の編目を、ウツシを使ってフックの中にもどします。
(3)~(4)をくり返します。

3. 同時編込模様・すべり目編・スレッド編の引返し編

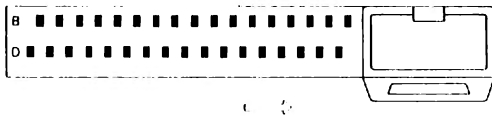
- (1) キャリジの引返しレバーを「引返しあみ」に切り替え、休める部分の編針をE位置に出します。(他はその編み方のままです。)
- (2) 一段編みます。
- (3) 引き返す部分に穴がでないよう、編糸(配色糸も)を編み終りのとなりのE位置の針にかけます。
- (4) 一段編みます。

- ◎編む部分を増して行く場合は、総タック編の引返し編を二覧下さい。

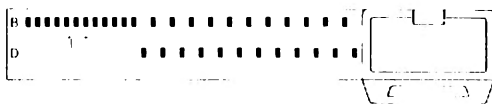
4. レース編・タックレース編の引返し編

- ◎引返しレバーを「ひらあみ」にします。
- ◎カムボタンの「すべり左右」を押します。
- ◎編目ダイヤルを次の表のように合わせ直します。

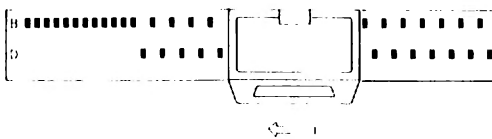
今まで合わせてあった目盛	合わせ直す目盛
4	5
5	6
6	7



- (1) Lキャリジを操作して選針します。

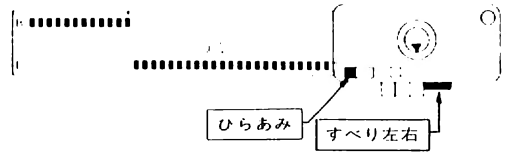


- (2) 選針された編針の内、編まない部分の編針をB位置に戻して揃えます。

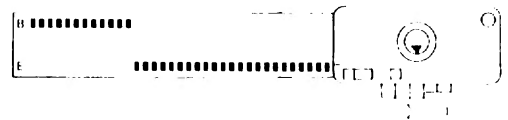


- (3) パンチカードの矢印方向にLキャリジを動かします。

※パンチカードにLキャリジの操作がなされているときは、矢印に従って(2)、(3)をくり返し操作します。



- (4) 編む部分の編針を、全部E位置に出します。



- (5) パンチカードの矢印方向に、Kキャリジを1回だけ動かします。

※パンチカードのKキャリジの操作が2段以上のときは、(4)、(5)をその段数だけくり返します。

※引き返した部分に穴ができないようにするため、キャリジを引き返す前に、編み終りのとなりの編針フックに糸をかけて下さい。



※機械への直接の注油は行わないで下さい。

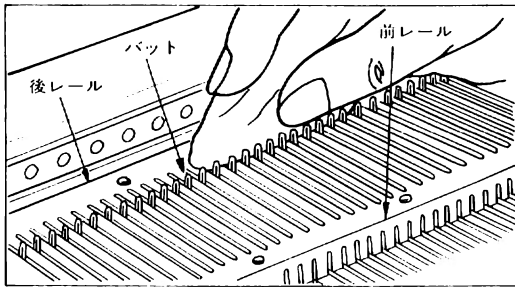
◆手入れ

◎編む前に油をしみこませた布でふいて下さい。



※油は必ず付属のブラザー編機用をご使用下さい。

◎キャップをはずし、胴を軽く押しますとハケに油がしみ出ますから、布にしみこませて下さい。



(1) 編針のノット

編針をB位置に並べ油布でふきまわす。

(2) ミゾ板前レール

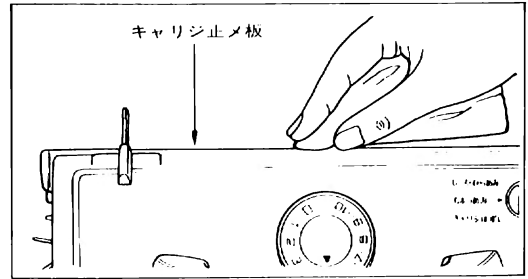
布でよごれをおとしてから油布でふきまわす。

(3) ミゾ板後レール

布でよごれをおとしてから油布でふきまわす。

(4) キャリジ裏側……布でよごれをおとしてから

図の点線の部分とカム(A)、(B)の側面を油布でふきまわす。キャリジの操作が重いときも油布でふいて下さい。



(5) キャリジ止メ板

布でよごれをおとしてから油布でふきまわす。

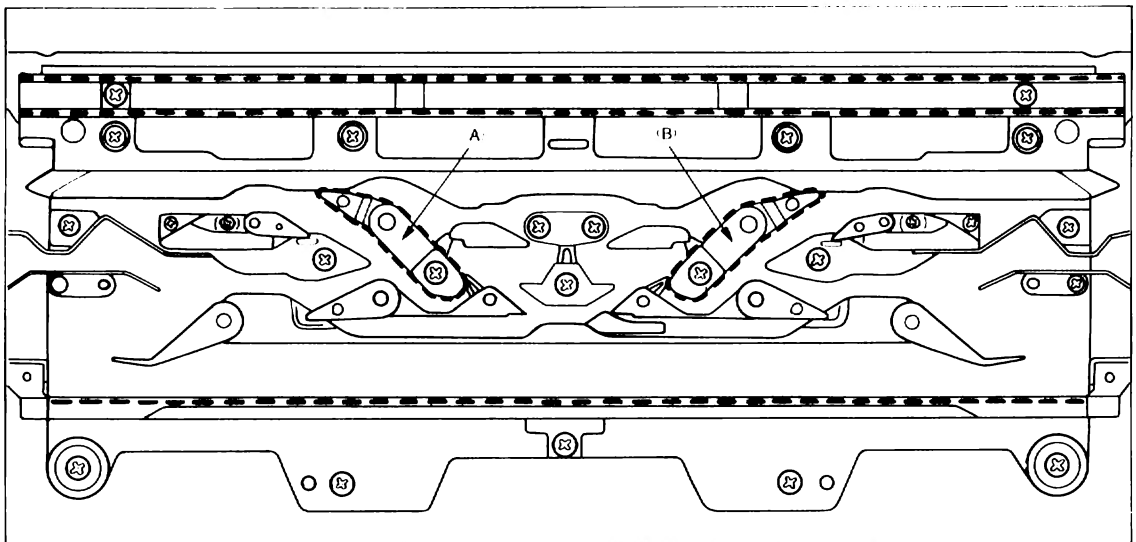
◆保存

(1) しまうときは、手バケ・布などでよくほこりを除き、金属部分を、付属の油をしみこませた布でふきまわす。色のついている部分(ケース、キャリジカバーなど)のよごれは、中性洗剤などを布にしみこませてふきとりませす。
※シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどは使わないようにして下さい。

※湿気の少ないところを選んで保存します。

(2) 長く保存しておいてから、再び使用するときは、一度油のついた布でよくふきとってから使用します。

最初は古い毛糸で20～30段平編を編みますと、古い油がとれて作品をよごすこともありません。



編目スケールを段方向(段数)に使うときの早見表

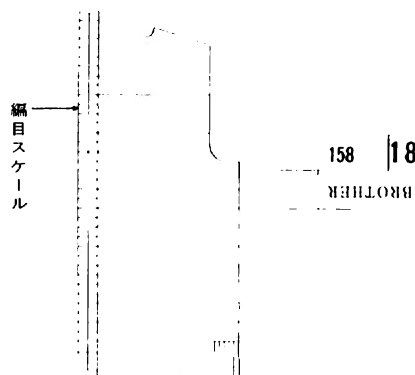
ゲージツマミ を合せた位置	使用する 編目スケール			ゲージツマミ を合せた位置	使用する 編目スケール			ゲージツマミ を合せた位置	使用する 編目スケール			ゲージツマミ を合せた位置	使用する 編目スケール		
	数字	番号	色		数字	番号	色		数字	番号	色		数字	番号	色
60 *	80			90 *	120			120	80			168	112		
61 *	81	1		91 *	121	11		121 122	81	1		169 170	113	9	
62 *	83			92 *	123			123	82			171	114		
63 *	84			93 *	124			124 125	83			172 173	115		緑
64 *	85	2		94 *	125	12		126	84			174	116		
65 *	87			95 *	127			127 128	85	2		175 176	117	10	
66 *	88			96 *	128		緑	129	86			177	118		
67 *	89	3	青	97 *	129	13			130 131	87			178 179	119	
68 *	91				98 *	131			132	88		青	180	120	
69 *	92			99 *	132			133 134	89	3			181 182	121	11
70 *	93	4		100 *	133	14		135	90			183	122		
71 *	95			101 *	135			136 137	91			184 185	123		
72 *	96			102 *	136			138	92			186	124		
73 *	97	5		103 *	137			139 140	93	4		187 188	125	12	
74 *	99			104 *	138	15		141	94			189	126		
				105 *	140			142 143	95			190 191	127		
75 *	100			106 *	142			144	96			192	128		
76 *	101	6		107 *	142			145 146	97	5		193 194	129	13	緑
77 *	103			108 *	144	16		147	98			195	130		
78 *	104			109 *	146			148 149	99			196 197	131		
79 *	105	7		110 *	146			150	100			198	132		
80 *	107			111 *	148			151 152	101	6		199 200	133	14	
81 *	108			112 *	150		赤	153	102			201	134		
82 *	109	8	橙	113 *	150				154 155	103			202 203	135	
83 *	111				114 *	152	17		156	104		橙	204	136	
84 *	112			115 *	154			157 158	105	7			205 206	137	15
85 *	113	9		116 *	154			159	106			207	138		
86 *	115			117 *	156			160 161	107			208	139		
87 *	116			118 *	158	18		162	108			209	140		
88 *	117	10		119 *	158			163 164	109	8					
89 *	119							165	110						
								166 167	111						

* 印の場合は編目スケールの1目盛を2段と読みます。

◎編目スケールの選び方

60段の編ゲージの長さから、上の表をみて編目スケールを選びます。

例えば段縞模様するとき、60段の長さが11.8(118唘)としますと、上の表より(赤18の158)の編目スケールを取り出し、段方向にあてて段縞の目盛を製図にかいて下さい。線に従って糸を交換しますときれいな段縞ができます。



札幌支店	〒060	札幌市中央区南三條西3-2-2	電話<011>	261-6631
仙台支店	〒980	仙台市一番町2-3-10	電話<0222>	27-8870
北関東支店	〒104	東京都中央区京橋3-6	電話<03>	281-4121
東京支店	〒104	東京都中央区京橋3-6	電話<03>	281-4121
横浜支店	〒220	横浜市西区楠町9-6	電話<045>	312-8631
新潟支店	〒950	新潟市東大通1-1-1	電話<0252>	47-7101
静岡支店	〒420	静岡市御幸町9-1	電話<0542>	54-2601
名古屋支店	〒460	名古屋市中区栄3-27-18	電話<052>	261-3271
京都支店	〒604	京都市中京区千本通丸太町下ル西側	電話<075>	811-3151
大阪支店	〒542	大阪市南区心斎橋筋1-1	電話<06>	252-5321
広島支店	〒730	広島市胡町4-2-7	電話<0822>	41-9236
高松支店	〒760	高松市寿町1-1-5	電話<0878>	51-7341
福岡支店	〒812	福岡市博多区博多駅前2-20-1	電話<092>	431-6561
熊本支店	〒860	熊本市手取本町8-1 宝ビル内	電話<0963>	55-7151
沖縄出張所	〒900	那覇市泊3-1-2	電話<0988>	68-4511

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、ご購入の販売店
又は上記支店へご連絡下さい。



BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーマシン販売株式会社

〒467 名古屋市瑞穂区堀田通9-35
TEL. 代表 <052> 824-2511